

令和7年度 第1回

## 理 事 会

日時 令和7年4月3日(木)

15時00分～

場所 5階 大会議室

### 会長挨拶

### 協議事項

- 1 会長・副会長・常任理事・理事協議事項について

### 報告事項

- 1 第158回日本医師会臨時代議員会の結果について

金井会長

日医

日時：令和7年3月30日(日) 9:30～

場所：日本医師会館

- 2 郡市医師会別医師会員数(4月1日現在)ならびに会員異動(3月分)について

桃木常任理事

- 3 医療事故調査制度の相談事案(2月分)について

松本常任理事

※件数 0件

4 医療事故紛争解決事例（2月分）について

松本常任理事

田口理事

※件数 1件

5 令和6年度埼玉県医師会医療情報関連講演会の結果について

小室常任理事

飯嶋理事

日時：令和7年3月6日（木）18:00～

場所：埼玉県県民健康センター 1階 大会議室 AB

（及びWEB開催）

6 令和6年度日本医師会医療情報システム協議会の結果について

小室常任理事

日医

飯嶋理事

日時：令和7年3月8日（土）～9日（日）

場所：日本医師会 大講堂（及びWEB開催）

7 会長・副会長・常任理事・理事報告事項について

そ の 他

## [ 資 料 配 布 ] (ホームページ掲載)

- 1 公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業第 80 回  
報告書の公表について (25 枚)

松本常任理事

日医

- 2 医療事故の再発防止に向けた警鐘レポート No.2 の公表について (4 枚)

松本常任理事

日医

- 3 「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改定について (75 枚)

高木常任理事

日医

- 4 黄熱予防接種巡回診療の開始について (3 枚)

高木常任理事

日医

第158回日本医師会臨時代議員会 次第

日 時 令和7年3月30日(日)午前9時30分  
場 所 日 本 医 師 会 館  
東京都文京区本駒込2丁目28番16号

1. 開 会

1. 会長挨拶

1. 報 告

令和7年度日本医師会事業計画及び予算の件

1. 議 事

第1号議案 日本医師会理事選任の件

1. 閉 会



# 日本医師会理事候補者一覧

公益社団法人 日本医師会

理事候補者 1 名 (定数 1 名)

1. 加 納 康 至 (大阪府)

＊任期：令和 7 年 3 月 3 0 日より令和 7 年度に関する定例代議員会終結の時まで

日医発第1933号（総務）

令和7年3月30日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人 日本医師会

会長 松本 吉郎

（公印省略）

第158回日本医師会臨時代議員会における決議事項等について

本日開催いたしました標記代議員会において、議事として上程いたしました、本会理事1名（任期は、令和7年3月30日から令和7年度に関する定例代議員会終結の時まで）の選任を行う下記の提出議案につきましては、別紙1のとおりとなりましたので、ご通知申し上げます。

また、今回の理事選任に伴う本会役員の順位は別紙2のとおりとなりますので、併せてご通知申し上げます。

記

第1号議案 日本医師会理事選任の件

## 日本医師会理事

# 別紙1

公益社団法人 日本医師会

理事 1 名 （定数 1 名）

1. 加 納 康 至（大阪府）

＊任期：令和 7 年 3 月 3 0 日より令和 7 年度に関する定例代議員会終結の時まで

日本医師会役員

(任期：令和6年6月22日～令和7年度に関する定例代議員会終結の時まで)

会 長	松 本	吉 郎	
副会長	茂 松	茂 人	
	角 田	徹	
	釜 范	敏	
理 事	尾 崎	治 夫	
	福 田	稠	
	松 家	治 道	
	久米川	啓	
	松 村	誠	
	鈴 木	昌 則	
	小 泉	ひろみ	
	志 田	正 典	
	村 上	美也子	
	安 東	範 明	
	松 崎	信 夫	
	大 輪	芳 裕	
	三 木	恒 治	
	市 川	陽 子	
	加 納	康 至	(令和7年3月30日～)
常任理事	城 守	国 斗	
	長 島	公 之	
	江 澤	和 彦	
	宮 川	政 昭	
	渡 辺	弘 司	
	細 川	秀 一	
	今 村	英 仁	
	黒 瀬	巖	
	坂 本	泰 三	
	濱 口	欣 也	
	笹 本	洋 一	
	佐 原	博 之	
	松 岡	かおり	
	藤 原	慶 正	
監 事	松 山	正 春	
	松 井	道 宣	
	藤 原	秀 俊	

## 会長挨拶

令和7年3月30日

第158回日本医師会臨時代議員会

### 1. はじめに

第158回日本医師会臨時代議員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より日本医師会の会務運営に特段のご理解とご支援をいただいておりますことに対し、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

本日の臨時代議員会では、来年度の事業計画及び予算の報告に加え、1件の議案を上程いたしております。慎重にご審議の上、なにとぞご承認賜りますようお願い申し上げます。

### 2. 医療機関経営の危機的状況の改善に向けて

現在、病院をはじめとする医療機関の経営は大変厳しい状況にあります。入院も外来も在宅医療も、いずれも経営的に非常に厳しい局面にあるにもかかわらず、一方で政治の世界では医療費削減ありきを出発点とした主張もあります。医療費削減のために何をするかという提案が安易になされることに、心の底から憤慨しています。

こうした危機的状況を国民の皆様方に訴えるべく、日本医師会は、3月12日に6病院団体と合同記者会見を開催し、そこで合同声明を公表いたしました。

賃金上昇と物価高騰、さらには日進月歩する医療の技術革新への対応には、十分な原資が必要であり、補助金や診療報酬による機動的な対応も行わなければなりません。

著しく逼迫した経営状況を鑑みると、まずは補助金での早期の適切な対応が必

要であり、さらに、診療報酬で安定的に財源を確保しなければなりません。令和8年度診療報酬改定の前に、期中改定も視野に入れて、補助金と診療報酬の両面から対応を求めてまいります。

これから令和8年度診療報酬改定へ向け、「骨太の方針2025」の議論が本格化いたします。医療の危機的な状況を打開するために、「骨太の方針2025」の取りまとめに向けて、3つの対応が必要と考えます。

1つ目は『「高齢化の伸びの範囲内に抑制する」という社会保障予算の目安対応の廃止』です。

「骨太の方針2024」において「経済・物価動向等に配慮しながら」という文言が本文に記載されましたけれども、それでは弱いことから財政フレームを見直し、別次元の対応とする必要があり、さらにそれを強めた文言とするよう、現在、全力で政府・与党に要望しております。

2つ目は、「診療報酬等について、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する新たな仕組みの導入」です。

医療・介護業界でも他産業並みの賃上げができるよう、賃金・物価の上昇を踏まえた仕組みを導入していく必要があります。

現在の医療機関の経営状況では、これ以上の賃上げは到底不可能であり、このままでは人手不足に拍車がかかり、患者さんに適切な医療を提供できなくなってしまう。

3つ目は、「小児医療・周産期体制の強力な方策の検討」です。

2024年の出生数は69万人弱とされており、好転の兆しは見えていません。小児医療・周産期体制については、著しい人口減少により対象者が激減しており、全国津々浦々で対応するための強力な方策の構築が必要です。

### 3. 組織強化

組織強化につきましては、私が日本医師会長に就任して以来、力を入れて取り組んでまいりました。その結果、昨年7月末には初めて会員数が17万7千名を突破しました。ご協力いただいた全国の医師会の先生方には改めて深く感謝

申し上げます。

この組織強化の一環として、新たに医師会会員情報システム「MAMIS」を構築いたしました。昨年 10 月から地域医師会への導入が順次始まっており、12 月末までに全国の医師会に導入されております。これにより、これまで書類で行ってきた入会・異動等の手続きを Web 上で行えるようになり、負担が軽減されました。従来は異動時の手続きの煩雑さが退会検討理由の一つになっておりましたが、この課題は MAMIS の導入で解消に向かうものと考えております。今後は入会促進ツールの一つとしても活用を進めてまいります。

医師会の組織強化の眼目は、現場に根差した提言をしっかりと医療政策の決定プロセスに反映させていく中で、医師の診療・生活を支援し、国民の生命と健康を守ることにあります。対外的にも医師会のプレゼンスを一段と高められるよう、日本医師会は引き続き組織強化に努めてまいります。

#### 4. 新たな地域医療構想等の医療法改正

新たな地域医療構想については、新たに「医療機関機能」報告が加わりますが、2025 年度に国で関係ガイドラインを作成し、都道府県においては 2026 年度に新たな地域医療構想の策定、2027 年度以降に順次取組を開始する予定となっております。日本医師会からは、介護との連携なくして医療提供体制の議論は完結しないとの考えから、地域医療構想に介護を含めるよう提案し、介護事業を運用する市区町村行政の調整会議への参画が明示されるなど、そのコンセプトは実現いたしました。また、現行の「回復期機能」に代えて、高齢者救急等を受け入れ、リハビリ・栄養・口腔管理の一体的取組等を推進し、早期の在宅復帰等を提供する「包括期機能」を提案し、これも実現にいたっております。

これらにつきましては、3 月 19 日に開催した「新たな地域医療構想・医師偏在対策担当理事連絡協議会」でもご説明いたしました。

新たな地域医療構想に加え、医師偏在対策、またいわゆる「直美」問題の美容医療への対応や、適切なオンライン診療の推進等を含む医療法等の改正法案

がとりまとめられ、現在開会中の通常国会に提出されています。

## 5. 医師偏在対策

医師偏在対策についても、「重点医師偏在対策支援区域」を対象とした「医師偏在是正プラン」の策定や、外来医師過多区域における新規開業希望者に対する地域で必要な医療機能の要請など、各地域での実効性ある取組が求められております。

厚生労働省の「新たな地域医療構想等に関する検討会」の「医師偏在対策に関するとりまとめ案」には、「地域の実情」という言葉が何度も使われ、こうした考え方が盛り込まれたことは評価しております。

一方で、日本医師会は、昨年8月21日に医師偏在対策に対する6項目の提案を行いました。これにより議論が相当進み、昨年の12月25日には、厚生労働省より「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」が公表されました。総合パッケージには、日本医師会の提案内容が概ね盛り込まれており、基本的には評価できると考えております。

また、かねがね「医師偏在を一つの手段で解決するような『魔法の杖』は存在せず、その解決のためには、あらゆる手段を駆使して複合的に対応していく必要がある」と述べてまいりました。今回の総合パッケージでは、その考えも踏襲し、「医師偏在は一つの取組では是正が図られるものではない」と認識した上で、「経済的インセンティブ、地域の医療機関の支え合いの仕組み、医師養成課程の取組等の総合的な対策」を基本的な考え方にしております。中堅・シニア世代に対する、総合的な診療能力などのリカレント教育にも、日本医師会としてしっかり取り組んでいくことが大事だと思っております。今回の総合パッケージは、若手医師だけでなく、全ての世代の医師へのアプローチも謳っており、そうした点でも評価しております。

なお、総合パッケージにあります「全国的なマッチング機能の支援」については、3月21日に厚生労働省より事業公募がなされ、日本医師会女性医師支援センターで、応札に向け、現在対応しているところです。



## 6. かかりつけ医機能が発揮される制度整備

本年4月より、かかりつけ医機能報告制度が施行され、地域における面としてのかかりつけ医機能のさらなる発揮に向けた取り組みが始まります。

私が会長に就任して以降、日本医師会は、令和4年11月に「地域における面としてのかかりつけ医機能～かかりつけ医機能が発揮される制度整備に向けて～」を提言し、令和5年2月には「かかりつけ医機能の制度整備にあたっての日本医師会の主な考え方」をお示しするなど、かかりつけ医機能に関する議論を深めてまいりました。

かかりつけ医はあくまで国民が選ぶものです。財務省等が主張するように、「国民にかかりつけ医を持つことの義務付け」や、「フリーアクセスの阻害に繋がるかかりつけ医の制度化」には明確に反対です。

地域を面で支えるためにも、かかりつけ医機能報告制度には、多くの医療機関に手を挙げて参画いただきたいと考えており、日本医師会としても尽力してまいります。

一方で、医師も自ら「かかりつけ医」として選ばれるよう研鑽を積み、国民に理解いただくことも重要です。日本医師会は「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」を新設し、地域に根差して活動をされている医師の経験も十分考慮し、研修修了者に対して修了証を発行する予定です。

これらにつきましては、3月26日に開催した「都道府県医師会かかりつけ医機能担当理事連絡協議会」でも説明いたしました。

## 7. 医療 DX

医療 DX につきましては、国民・患者の皆様への安全・安心でより良い医療の提供と、医療現場の負担軽減に資するものでなければならないと考えております。加えて、IT に不慣れな方であっても、日本の医療制度から国民も医療者

も誰一人取り残すことがあってはなりませんし、拙速になることなく、現場の状況を見ながら着実に進めていくことも重要であります。

その観点から、昨年末、電子処方箋について、一部の医療機関等におけるシステム設定時の不備により、薬局側で医師の処方と異なる医薬品名が表示される問題が起きた際には、厚労省に根本的な対応と、実情に応じた普及目標の再設定を改めて強く申し入れました。その結果、現場の負担増と混乱を招く五月雨式の機能追加をストップさせることができました。

また、中医協において日本医師会が強く働きかけ、「医療 DX 推進体制整備加算」に電子処方箋導入が要件とならない点数を新設させることができたことは大きな成果であります。

今後も、医療機関の業務負担、費用負担を減らすための医療 DX となるよう、尽力してまいります。

## 8. 医薬品をめぐる最近の状況について

医薬品の安定供給につきましては、これまで日本医師会が主張してまいりました、ドラッグロス・ラグ解消、医薬品供給網の強化や供給に関する情報共有の促進、後発医薬品の安定供給の確保などの施策を進めるために、厚生労働省は薬機法改正案をとりまとめ、現在開会中の通常国会に提出されております。特に、製薬企業への供給計画の義務付けや流通管理の厳格化は重要な改正事項です。しかしながら、依然として医療現場では医薬品供給不安が続いており、さらなる実効性の向上や迅速な対応が求められるため、補助金等の十分な予算措置も含め、現場の声を踏まえた意見・要望をしっかりと国に伝えていく所存です。

一方で、昨今、社会保険料を下げることを目的に、OTC 類似薬の保険適用除外を求める動きが見受けられます。

日本医師会は、医療機関への受診控えによる健康被害や自己負担の経済的増加、薬の適正使用が難しくなるといった問題点を、2月13日の定例記者会見で指摘させていただき、重大な危険性が伴うとして強い懸念を表明いたしました。

保険料を支払っているにもかかわらず保険を使えなくなり、結果として自己負担が増えることや薬の適正使用が難しくなる仕組みは、国民にとって望ましくありません。その結果、国民皆保険から離脱する若者がでるなど、相互扶助である公的医療保険制度の根幹を揺るがす問題に発展する懸念さえあります。

## 9. 7月の参議院選挙

7月に予定される参議院選挙は、「医療の未来を左右する重要な選挙」であり、日本医師連盟は、7月の参議院議員選挙に本会の釜范敏副会長を組織内候補として擁立することを決定しております。

釜范先生は、6期11年にわたり日本医師会の常任理事・副会長として幅広い業務を担当され、医師会業務に精通し、特に新型コロナウイルス感染症対応では、アドバイザリーボード構成員等を務められるなど、医療界の主張を代弁していただきました。また、政治に対する造詣も深い釜范先生は、地域医療に携わり、地域医療が抱える課題にしっかりと取り組んでおられるだけでなく、幅広い人脈を持っています。今後も新たな人脈を築いていかれるであろうこと、さらには行動力、決断力もあり、余人をもって代え難い存在であります。

釜范先生が大きく飛躍して十分に活動できるよう、本日ご出席の先生方をはじめ会員の皆様におかれましては絶大なる応援をお願いいたします。

## 10. おわりに

財政健全化の立場から「大きなリスクは共助、小さなリスクは自助」との主張も一部にあります。日本医師会はそれには反対です。国民生活を支える基盤として、「必要かつ適切な医療は保険診療により確保する」という国民皆保険制度の理念を今後とも堅持すべきであり、給付範囲を縮小すべきではないと考えております。

低所得者層の貧困化も社会問題となる中、所得などによって、必要な医療を

利用できる患者さんと利用できない患者さんの間での分断を生み出してはなりません。

日本医師会はこれまで、「税金による公助」、「保険料による共助」、「患者さんの自己負担による自助」の 3 つのバランスを取りながら進め、自己負担のみを上げないこと、あわせて、低所得者への配慮が重要であることを主張してまいりました。

高齢化の伸び等により財政が厳しいことも承知しておりますが、安全性や公平性を損なわないよう、慎重な議論とバランスの取れた政策が求められます。

結びにあたり、今後とも国民の生命と健康を守るべく、本会執行部に対しまして皆様からの絶大なるご支援を賜りますよう切にお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

MEDIFAX

株式会社 じほう

<https://mf.jiho.jp/>

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします ©2025 じほう

## ■ 診療報酬に不満・要望相次ぐ 日医代議員会、1点単価スライド案も

日本医師会が30日に開催した臨時代議員会では、2024年度診療報酬改定で新設された生活習慣病管理料（Ⅱ）などの廃止を求める質問を発端に、現在の診療報酬に対する不満や要望が相次いだ。物価変動に応じて1点単価をスライドさせる案も飛び出したが、松本吉郎会長は「功罪相半ばする非常に難しい問題」と述べ、慎重な議論が必要との認識を示した。

同管理料については、小沼一郎代議員（栃木）が「実に理不尽なルールで、今までより時間をかけ丁寧に診療をしている医師から診療報酬を削減している改悪だ」として廃止を要望した。これに対し、答弁に立った城守国斗常任理事は「社会保障関係費を『高齢化による増加分に相当する伸びに収める』という、いわゆる『目安対応』が骨太の方針2021に書き込まれ、この考え方が現在も踏襲されていることが根本原因」だと指摘。『目安対応』というフレームを取っ払うためにも、松本会長や関係議員から政府にしっかりと要望している」と理解を求めた。

加川憲作代議員（岐阜）は、同管理料を算定できるのが月1回に限られていることについて「例えば、月初と月末に適切な投薬を行った場合、診療報酬として報われないとつらい」などと述べ、適切な治療に対して算定できるよう丁寧な議論を要望した。

### ●物価・人件費対応、「ばらつき」に問題意識

加藤雅通代議員（愛知）は「今までのように、物価や人件費などの上昇を診療報酬に反映させると、算定している医療機関とそうでない医療機関でばらつきが生じる」などと指摘。物価動向に応じて、1点単価をスライドさせてはどうかと提案した。

これに対し、城守氏は「1点単価自体を触ってしまうと、デフレになったり他の変動要因が生じたりした時、単価を容易に変えられることになってしまう」と説明。物価変動などをどのように反映させるか、日医で検討を進めているとした。松本会長も「1点単価の話は、功罪相半ばする非常に難しい問題」だとの認識を表明。病院と診療所、地域間、診療所間などで点数が変わるなど、「非常に根幹に関わる問題」と述べ、慎重な姿勢を示した。

須藤英仁代議員（群馬）は、自民党、公明党とともに社会保障改革の協議に加わる日本維新の会が、年間で国民医療費を4兆円削減し、現役世代1人当たりの社会保険料を6万円下げるべきと主張していることを問題視。日医として、しっかり対応するよう求めた。藤田泰宏代議員（高知）も「いま日医に必要なのは、各論よりも総論」などと述べ、維新の主張に対し「正面から突破する」といった論理構成をお願いしたい」と訴えた。

（藤田 昌吾）

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 医療機関支援、期中改定も視野に補助金・報酬で

松本会長

【挨拶要旨】挨拶に先立って、3月28日に発生したミャンマー中部を震源とする大地震の被害に遭われた皆さまに謹んで哀悼の意を表するとともに心よりお見舞い申し上げます。

報道によると、ミャンマーで実権を握る軍は29日夜の時点で、国内で1644人が亡くなり、3408人が負傷したと明らかにしているが、今後、被害のさらなる拡大も懸念されている。

日医では、ミャンマー医師会に対し、支援金として、まず500万円の支出を緊急で予定している。今後の被害状況を注視しながら、さらなる支援についても検討を進めていく。

現在、病院をはじめとする医療機関の経営は大変厳しい状況にある。入院も外来も在宅医療も、いずれも経営的に非常に厳しい局面であるにもかかわらず、政治の世界では医療費削減ありきを出発点とした主張もある。医療費削減のために何をするかという提案が安易になされることに、心から憤慨している。

こうした危機的状況を国民の皆さま方に訴えるべく、日医は3月12日に6病院団体と合同記者会見を開催し、合同声明を公表した。賃金上昇と物価高騰、さらには日進月歩する医療の技術革新への対応には十分な原資が必要で、補助金や診療報酬による機動的な対応も行わなければならない。

著しく逼迫した経営状況を鑑みると、まずは補助金での早期の適切な対応が必要で、さらに診療報酬で安定的に財源を確保しなければならない。2026年度診療報酬改定の前に、期中改定をも視野に入れて、補助金と診療報酬の両面から対応を求めている。

### ●骨太2025、財政フレームを見直して別次元の対応を

これから、26年度診療報酬改定に向け、「骨太の方針2025」の議論が本格化する。医療の危機的な状況を打開するため、取りまとめに向けて3つの対応が必要と考えている。

1つ目は「高齢化の伸びの範囲内に抑制する」という社会保障予算の目安対応の廃止だ。「骨太の方針2024」では「経済・物価動向等に配慮しながら」という文言が本文に記載されたが、それではまだ弱い。財政フレームを見直して別次元の対応とすることが必要で、さらに強めた文言とするよう、現在、全力で政府・与党に要望している。

2つ目は診療報酬等について、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する新たな仕組みの導入だ。医療・介護業界でも他産業並みの賃上げができるよう、賃金・物価の上昇を踏まえた仕組みを導入していく必要がある。現在の医療機関の経営状況では、これ以上の賃上げは到底不可能だ。このままでは人手不足に拍車がかかり、患者に適切な医療を提供できなくなってしまう。

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

3つ目は小児医療・周産期体制の強力な方策の検討だ。24年の出生数は69万人弱とされており、好転の兆しは見えていない。小児医療・周産期体制は、著しい人口減少により対象者が激減しており、全国津々浦々で対応するための強力な方策の構築が必要だ。

組織強化については、私が日医会長に就任して以来、力を入れて取り組んできた。その結果、昨年7月末には初めて会員数が17万7000人を突破した。ご協力いただいた全国の医師会の先生方には、改めて深く感謝を申し上げる。

組織強化の一環として、新たに医師会会員情報システム「MAMIS」を構築した。昨年10月から地域医師会への導入が順次、始まっており、12月末までに全国の医師会に導入された。これまで書類で行ってきた入会・異動時の手続きをウェブ上で行えるようになり、負担が軽減された。従来は異動時の手続きの煩雑さが退会検討理由の一つになっていたが、MAMISの導入で解消に向かうと考えている。今後は入会促進ツールの一つとしても活用を進めていく。

組織強化の眼目は、現場に根差した提言をしっかりと医療政策の決定プロセスに反映させていく中で、医師の診療・生活を支援し、国民の生命と健康を守ることにある。対外的にも医師会のプレゼンスを一段と高められるよう、引き続き組織強化に努めていく。

新たな地域医療構想については、医療機関機能報告が加わるが、25年度に国で関係ガイドラインを作成し、26年度に都道府県で新たな地域医療構想の策定、27年度以降に順次、取り組みを開始する予定となっている。

日医からは、介護との連携なくして医療提供体制の議論は完結しないとの考えから、地域医療構想に介護を含めるよう提案した。介護事業を運用する市区町村行政の調整会議への参画が明示されるなど、そのコンセプトは実現している。

また、現行の「回復期機能」に代えて、高齢者救急等を受け入れ、リハビリ・栄養・口腔管理の一体的取り組み等を推進し、早期の在宅復帰を提供する「包括期機能」を提案し、実現に至った。

新たな地域医療構想に加え、医師偏在対策、いわゆる「直美」問題の美容医療への対応や、適切なオンライン診療の推進等を含む医療法等の改正法案が取りまとめられ、現在開会中の通常国会に提出されている。

## ●医師偏在対策、「基本的に評価」

医師偏在対策についても、「重点医師偏在対策支援区域」を対象とした「医師偏在是正プラン」の策定や、外来医師過多区域での新規開業希望者に対する地域で必要な医療機能の要請など、各地域での実効性ある取り組みが求められている。

厚生労働省の「新たな地域医療構想等に関する検討会」の「医師偏在対策に関する

77

2025年 3月31日 月曜日

メディファクス

9420号-2

「取りまとめ案」では、「地域の実情」という言葉が何度も使われ、こうした考え方が盛り込まれたことは評価している。一方で、日医は昨年8月21日、医師偏在対策に対する6項目の提案をした。これによって議論が相当進み、昨年12月25日には、厚労省から「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」が公表された。総合パッケージには、日医の提案内容がおおむね盛り込まれている。基本的には評価できると考えている。

また、かねがね「医師偏在を一つの手段で解決するような『魔法の杖』は存在せず、解決のためにはあらゆる手段を駆使して、複合的に対応していく必要がある」と述べてきた。今回の総合パッケージでは、その考えも踏襲し、「医師偏在は一つの取り組みで是正が図られるものではない」と認識した上で、「経済的インセンティブ、地域の医療機関の支え合いの仕組み、医師養成過程の取り組み等の総合的な対策」を基本的な考え方にしている。中堅・シニア世代に対する総合的な診療能力などのリカレント教育にも日医としてしっかりと取り組んでいくことが大事だと思っている。今回の総合パッケージは若手医師だけではなく、全ての世代の医師へのアプローチもうたっており、そうした点でも評価している。

なお、総合パッケージにある「全国的なマッチング機能の支援」については、3月21日に厚労省から事業公募がなされ、日医女性医師支援センターで応札に向け、現在、対応している。

### ●かかりつけ医の義務化・制度化、明確に反対

今年4月から、かかりつけ医機能報告制度が施行され、地域における面としてのかかりつけ医機能のさらなる発揮に向けた取り組みが始まる。

私が会長に就任して以降、日医は22年11月に「地域における面としてのかかりつけ医機能～かかりつけ医機能が発揮される制度整備に向けて～」を提言し、23年2月には「かかりつけ医機能の制度整備にあたっての日医の主な考え方」を示すなど、かかりつけ医機能に関する議論を深めてきた。

かかりつけ医はあくまで国民が選ぶものだ。財務省等が主張するように、「国民にかかりつけ医を持つことの義務付け」や「フリーアクセスの阻害につながるかかりつけ医の制度化」には明確に反対だ。

地域を面で支えるためにも、かかりつけ医機能報告制度には、多くの医療機関に手を挙げて参画いただきたいと考えている。日医としても尽力していく。

一方で、医師側も自ら「かかりつけ医」として選ばれるよう研鑽を積み、国民に理解をしていただくことも重要だ。日医は「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」を新設し、地域に根差して活動されている医師の経験も十分考慮し、研修修了者に対しては修了証を発行する予定だ。



78

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

医療DXについては、国民・患者への安全・安心でより良い医療の提供と、医療現場の負担軽減に資するものでなければならない。加えて、ITに不慣れな人であっても、日本の医療制度から国民も、医療者も誰一人取り残すことがあってはならない。拙速になることなく、現場の状況を見ながら着実に進めていくことは、大変重要だ。

その観点から昨年末、電子処方箋について、一部の医療機関等でのシステム設定時の不備により、薬局側で医師の処方と異なる医薬品名が表示される問題が起きた際には、厚労省に根本的な対応と実情に応じた普及目標の再設定を改めて強く申し入れた。その結果、現場の負担増と混乱を招くさみだれ式の機能追加をストップさせることができた。

また、中医協で日医から強く働きかけ、「医療DX推進体制整備加算」に電子処方箋導入が要件とならない点数を新設させることができたのは、大変大きな成果だと思っている。今後も医療機関の業務負担、費用負担を減らすための医療DXとなるように尽力していく。

### ●OTC類似薬の保険適用除外、重大な危険性が伴う

医薬品の安定供給については、これまで日医が主張してきたドラッグロス・ラグの解消、医薬品供給網の強化や供給に関する情報共有の促進、後発医薬品の安定供給確保などの施策を進めるために、厚労省は薬機法改正案を取りまとめ、現在開会中の通常国会に提出している。特に製薬企業への供給計画の義務付けや流通管理の厳格化は重要な改正事項だ。しかしながら、依然として、医療現場では医薬品の供給不安が続いており、さらなる実効性の向上や迅速な対応が求められるため、補助金等の十分な予算措置も含め、現場の声を踏まえた意見・要望をしっかりと国に伝えていく。

一方で、昨今、社会保険料を下げることを目的に、OTC類似薬の保険適用除外を求める動きが見受けられる。日医は医療機関への受診控えによる健康被害や自己負担の経済的増加、薬の適正使用が難しくなるといった問題点を、2月13日の定例記者会見で指摘し、重大な危険性が伴うとして強い懸念を表明した。保険料を支払っているにもかかわらず、保険を使えなくなり、結果として自己負担が増えることや、薬の適正使用が難しくなる仕組みは国民にとって望ましくない。その結果、国民皆保険から離脱する若者が出るなど、相互扶助である公的医療保険制度の根幹を揺るがす問題に発展する懸念さえある。

### ●参院選は「医療の未来を左右」、釜范氏への支援を

7月に予定されている参院選は、医療の未来を左右する重要な選挙だ。日本医師連盟は日医の釜范敏副会長を組織内候補として擁立することを決定している。自民党からも公認を得ている。

釜范先生は6期11年にわたり、日医の常任理事、副会長として幅広い業務を担当さ

79

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

れ、医師会業務に精通している。特に新型コロナウイルス感染症対応ではアドバイザーボード構成員等を務められるなど、医療界の主張を代弁していただいた。

また、政治に対する造詣も深い釜薙先生は、地域医療に携わり、地域医療が抱える課題にしっかりと取り組んでおられるだけではなく、幅広い人脈をお持ちだ。今後も新たな人脈を築いていかれるであろうこと、さらには行動力、決断力もあり、余人をもって代え難い存在だ。

釜薙先生が大きく飛躍して、今後も十分に活動できるよう、ご出席の先生方をはじめ、会員の皆さまには、絶大な応援をお願いしたい。

投票予定日まで112日となった。釜薙先生は全国を巡り、もう3周目に入っているが、釜薙先生だけで難しいところは、私たち役員が総出で回る。都道府県医師会だけではなく、郡市区医師会等の医師連盟、医師会にもお願いに伺う。よろしくお願いします。

### ●保険給付範囲の縮小に反対

財政健全化の立場から「大きなリスクは共助、小さなリスクは自助」との主張も一部にあるが、日医はそれに反対している。国民生活を支える基盤として「必要かつ適切な医療は保険診療で確保する」という国民皆保険制度の理念を今後とも堅持すべきであり、給付範囲を縮小すべきではない。

低所得者層の貧困化も社会問題となる中、所得などで必要な医療を利用できる患者と、利用できない患者との間での分断を生み出してはならない。日医はこれまで、「税金による公助」「保険料による共助」「患者の自己負担による自助」の3つのバランスを取りながら進め、自己負担のみを上げないこと、併せて、低所得者への配慮が重要であることを主張してきた。今後もこの主張を続ける。

高齢化の伸び等により財政が厳しいことも承知しているが、安全性や公平性を損なわないよう、慎重な議論とバランスの取れた政策が求められる。今後とも国民の生命と健康をしっかりと守るべく、執行部に対して皆さま方から絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げて、私からの挨拶とさせていただきます。

**MEDIFAXweb** <https://mf.jiho.jp/>

FAX版と同一料金でさらに便利！

リアルタイムで配信！

お問い合わせは▼

記事検索、E-ブック

関連資料PDF、寄稿、時事解説、記者コラム

**WEB限定の機能やコンテンツが充実しています！**



so

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 財政フレーム見直し、骨太向け「強力に行動」

茂松副会長

【日医代議員会・答弁要旨】病床を持つ医療機関の経営は、かつてないほど危機的な状況にあると認識している。物価高騰への対応では、過去3年間で4回にわたって重点支援地方交付金による補助が行われた。2024年度補正予算でも、賃上げ対応を含めた一定の補助が実現した。

しかし、昨今の急激な物価高騰や人件費上昇には到底追いついていない。給付までに時間がかかることや、事業によっては自治体ごとにばらつきがあることが課題で、改善を繰り返し主張している。

日医では今年3月に6病院団体との合同声明で「期中改定の対応も必要」との基本姿勢を表明し、歩調を合わせて対応した。26年度診療報酬改定に向けては、松本会長が何度も発言している通り、社会保障予算に関する財政フレームの見直しが不可欠と考えている。「高齢化の伸びの範囲内に抑制する」という目安対応の廃止や、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する新たな仕組みの導入を求めている。

6月の閣議決定に向けて「骨太の方針」の議論が本格化するが、これらの点が盛り込まれることが極めて重要であり、今後、強力に行動していく。

【赤石隆代議員（宮城）の代表質問に対する答弁】

## ■ 目安対応廃止へ、政府・与党へ「全力で要望」

城守常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】2024年度診療報酬改定で、財務省は診療所の経営状況は良好なものとのデータを示し、マイナス5%超の改定率を主張した。

激しい議論の結果、地域の先生方の尽力もあり、最終的な改定率は診療報酬本体はプラス0.88%となったが、生活習慣病を中心とした管理料、処方箋料などの項目指定としてマイナス0.25%の適正化も同時に求められた。これは医療費ベースで1250億円を外来医療費から削減することを意味する。

これらは社会保障関係費を「高齢化による増加分に相当する伸びに収める」という、いわゆる「目安対応」が骨太の方針2021に書き込まれ、この考え方が現在も踏襲されていることが根本原因と考える。リフィル処方箋、生活習慣病管理料（Ⅱ）も目安対応の一環だ。

骨太の方針2024では「目安対応」の記述は残った一方、日医の主張によって「経済・物価動向等に配慮しながら」という文言を本文に記載することができた。

今後、26年度改定に向け、骨太の方針2025の議論が本格化する。日医は緊縮財政派による医療費削減に向けた動きを止めるためにも、目安対応を廃止すべきと主張しており、現在、全力で政府・与党に要望している。

【小沼一郎代議員（栃木）の代表質問に対する答弁】

81

2025年 3月31日 月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 新構想、地域医師会の意見も反映

坂本常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】新たな地域医療構想について、日医には、▽地域医療対策委員会▽病院委員会▽有床診療所委員会—があり、厚生労働省の検討会などに参画する役員間で最新の情報を共有している。各委員会にはブロック医師会から委員を推薦していただいている。3月19日には、新たな地域医療構想と医師偏在対策の担当理事連絡協議会を開催した。こうした活動を通じ、地域医師会の意見を日医としてしっかりと受け止め、国に伝えていく。

在宅医療の提供体制は、需要が急増する地域や減少する地域の将来展望に応じ、それぞれ考えていく必要がある。介護サービスも検討していかなければならない。加えて、高齢者や要介護認定者の増加に対し、病床稼働率は低下するなど、当初は想定されていなかった事象が起きている。日医は、従来の性・年齢階級別の人口や受療率による現状投影モデルだけで捉えるべきではないと主張しており、新たな地域医療構想のガイドラインなどにもこうした考えを反映させるべく、議論に臨む。

地域医療介護総合確保基金による補助は、施設や設備だけでなく、日医の要請によって地域連携や再編統合の人材支援などのソフト事業にも認められている。引き続き、対象事業の拡充や弾力的な運用を国に要求していく。

【秋山欣丈代議員（静岡）の代表質問に対する答弁】

## ■ かかりつけ制度、「医療費削減」招かぬよう主張

城守常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】日医は2023年2月、かかりつけ医機能の制度整備についての考えを公表し、フリーアクセスの阻害につながる、かかりつけ医の制度化には明確に反対した。

その後、日医も参画した厚生労働省分科会での議論、先月締め切られたパブリックコメントも踏まえ、かかりつけ医機能報告制度は、日医の考えに沿う形で、この4月より施行されることになった。

ただし、財務省などを中心に、登録制をはじめ、かかりつけ医の制度化に向けた主張が、今後も展開されてくる懸念は十分にある。フリーアクセスの制限は、患者さんにとっても、日本の医療にとっても、決して望ましいものではない。引き続き、日医はフリーアクセスを守るべく、これまでの主張を重ねていく。

（かかりつけ医機能の）2号機能については、現在、有無を報告すればいいという形で、制度が設計されている。現時点では、数量的な評価につながる恐れはない。

今後とも（かかりつけ医機能報告）制度が、医療費の削減、医療提供体制の改悪を招く手段として利用されないことがないよう、鋭意、主張を重ねていく。

【三浦一樹代議員（兵庫）の代表質問に対する答弁】

82

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 訪看STのサービス、不適切ならば「正すべき」

佐原常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】3月12日の中医協で、訪問看護ステーション（ST）への指導の見直しが議論された。訪看STへの指導は、2003年に規定された指導要綱に基づいて実施されているが、個別指導は情報提供によるものに限られ、年間20件程度しか実施されていないという。

そこで、▽レセプト1件当たりの請求額が高額▽複数の都道府県で広域に運営されている一ケースを対象に、指導の仕組みを新設することが、日医から参画する委員も含めて了承された。高額な請求をする事業所が、一律に不正を行っているということではないが、どのようなサービス提供を行っているのかを個別指導で確認し、仮に不適切であれば正していくことが必要だ。

高齢者施設や高齢者住宅の適切な運営について、日医はこれまでも、厚生労働省に対応を強く求めてきた。その結果、国の「有料老人ホーム設置運営標準指導指針」に、▽入居者が医療機関を自由に選択することを妨げない▽介護サービスの利用に当たっては特定の事業者からのサービス提供に限定・誘導しない」と明記された。

厚労省で新たに、有料老人ホームでの課題を議論する検討会が設置予定のため、引き続き対応を協議していく。 【荏司輝昭代議員（東京）の代表質問に対する答弁】

## ■ サイバーセキュリティ対応「充実努める」

長島常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医療のサイバーセキュリティ（CS）において、スマートフォンは重要で、特にサードパーティーのアプリストア解禁によるリスクへの対応が必要だと考える。

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（GL）」の改定作業は始まっているが、改定作業班に日医総研から専門家が参画している。（懸念される）指摘事項への対応を働きかけていく。

オンライン診療のセキュリティについて、2023年3月に厚生労働省が「オンライン診療の適切な実施に関する指針」を改訂し、CS対策の記載も充実が図られた。オンライン診療システムと電子カルテなど医療情報システムとのネットワークの分離に関する記載として「オンライン診療において、医療情報システムに影響を及ぼす可能性があるオンライン診療システムを使用する際は『医療情報安全管理関連GL』に沿った対策を併せて実施すること。なお、汎用サービスを使用する際は、汎用サービスが医療情報システムに影響を与えない設定とすること」と追加された。

日医ホームページのメンバーズルーム内のページで、厚労省指針から該当する対策を整理して掲載し、都道府県医師会に周知した。CSに関して、会員に対する情報共有と相談体制の充実に努めたい。 【目々澤肇代議員（東京）の代表質問に対する答弁】

83

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 勤務医の意見集約へ委員会を合同開催

今村常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医師の働き方改革や医師の偏在対策については、医療現場の声を丁寧にくみ上げ、制度の決定プロセスに反映させることが極めて重要だ。そのため、勤務医委員会と病院委員会の合同開催を新たな試みとして行う。このほか、役員が各地を訪問し勤務医の声を直接聞く機会を増やすよう努めている。

地域の特性に応じた枠組みをさらに充実・活用することが、多様な意見の集約につながると考えている。ブロック単位で勤務医の意見を集約する取り組みに加え、各都道府県医師会に設置されている部会・委員会を通じて意見を集約し、日医に届けてもらうことも重要だ。

これらの仕組みが有機的に機能することで、若手医師たちの意見を拾い上げるシステムの実現につながる。日医では2021年度に勤務医活動助成費を倍増した後も増額を図るなど、地域の取り組みを積極的に後押ししている。

勤務医の声が届いていると実感してもらい、日医の存在をより身近に感じてもらうことも極めて重要と考えている。既存の広報手段のさらなる活用を検討することに加え、シンポジウムなどを通じ医師会活動に対する臨床研修医や若手勤務医の理解醸成にも努めたい。

【若林久男代議員（香川）の代表質問に対する答弁】

## ■ 医療DX、現場実態に即した要望を継続

長島常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医療DXに対する基本姿勢として日医は、日本の医療制度から国民も医療者も誰一人取り残さず、かつ恩恵を享受できるようにすることを掲げている。特に高齢の会員など、ITが苦手な方においては重要だと考えている。

オンライン資格確認システムの導入補助金については、当初は申請がオンラインのみだったが、日医として強く申し入れ、紙での申請が可能になった。今後もいろいろな手続きの簡略化や相談窓口の設置を国に強く求めるとともに、電子カルテに慣れていただく方策など、会員の先生方を支援していく。

電子カルテ情報共有サービスについては、導入や維持、セキュリティーの費用は、本来、国が全額を負担すべきであると主張してきた。日医総研が昨年実施した調査で、電子カルテの種類や契約形態によって導入費用のばらつきが大きい実態が明らかになったため、補助率および上限額を現実的な額に引き上げるよう強く要望している。

保守管理費用に充当する「医療DX推進体制整備加算」については、日医として現状認識と普及率の考慮を強く求めた結果、電子処方箋の導入が要件とされない点数が新設された。同様に、今後も実態に即した対応を求めていく。

【友岡俊夫代議員（奈良）の代表質問に対する答弁】

84

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 控除対象外消費税、解決は「最重要の課題」

宮川常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】控除対象外消費税の問題については、昨今の物価上昇を受け、特に病院の消費税負担はますます増大しており、一刻も早い解決が求められる最重要の課題だ。日医は長年、この問題を税制要望の一番に掲げ、要望活動をしてきた。

医療機器、医療材料、医薬品、委託費にかかる消費税を免税すべきとの（代議員の）ご提案は、重要なご指摘だ。すでに、会内の医業税制検討委員会では、医療機関の仕入れ段階の消費税に注目し、高額な投資への配慮として、一部を免税する仕組みの検討を開始している。ご指摘はそれに共通するものと理解して、さらに検討を進めていく。

医師偏在対策のための所得税の減税措置についても、ご指摘の通り、予算措置を補完する有効な施策と考える。

政府は2024年度補正予算で、重点医師偏在対策支援区域での承継・開業に対する補助金を措置した。こうした取り組みを広げ、さらに推し進めるため、偏在対策を支援する新たな税制措置の創設を、医業税制検討委で検討していた。

ご指摘いただいた、へき地に勤務する医師など、偏在解消に協力的な病院勤務医への減税措置は、重要な観点だ。これについても、偏在対策に資する税制措置として、引き続き検討していく。

【大原正範代議員（北海道）の代表質問に対する答弁】

## ■ 救急での選定療養、「処遇改善の一策」

細川常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】救急要請時の緊急性が低い場合の選定療養費については、医療現場の負担軽減や疲弊防止につながり、勤務医の処遇改善の一策と考えている。日医としては、茨城県や三重県松阪市の先行事例をしっかりと参考にさせていただきながら、どの地域であっても医療への影響が出ないように、全国展開について、厚生労働省や消防庁の検討会などで議論に臨んでいく。

勤務医の疲弊と環境改善に対する考え方については、日医としても極めて重要な課題と認識している。特に、勤務医との直接的な対話に努める中で、その声をしっかりと受け止め、さまざまな課題の解決に努めていく姿勢は、日医の基本的な考え方でもある。

勤務環境の課題については、勤務先などの経営改善も不可欠なことから、病院団体との連携を深めていく。大学との関係強化はもとより、3月12日には、6病院団体とともに経営改善を求める合同声明を行った。加えて、4月11日には、日医の病院委員会と勤務医委員会の合同委員会という初めての試みを行う。こうした新たな活動も通して、なるべく多くの勤務医の先生方の考えを共有し、勤務環境の改善につなげていく。

日医は、勤務医の先生方の声を一段としっかりと受け止めていく中で、医療界が丸となって、より良い医療環境を実現していきたいと考えている。

【原晃代議員（茨城）の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 承継支援「情報共有の機会や広域マッチングを検討」 藤原常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】地域医療を支えてきた医師が高齢化し、後継問題が各地で顕在化している。特に地方は、患者減少による経営基盤の脆弱化などから、親族間の承継を諦め、廃業を考える先生がいる。

強い責任感と使命感を持って、園医や学校医など地域社会で不可欠な役割を担ってきた先生方が多くいる。この地域に対する思いをつなぐことが、真の医療の承継だ。従って医師会が関わることには大きな意義がある。

（医業承継支援事業の）先行事例として、福島県医師会では22例、秋田県医師会では2例の承継実績がある。山形県医師会では今年から承継事業を開始した。

先行事例には参考となる点も多いと思われ、情報共有の機会の設定を検討する。広域でマッチング情報を共有できる仕組みも検討する。

日医は2020年に民間事業者と「第三者医業承継のトライアル事業に関する包括連携協定」を結んだ。

その一環で秋田県医師会が金融機関を含む四社で協定を締結した。事業承継セミナーを実施したと伺っている。仲介料が高額などの理由で、承継の事案はないという。

今後も、地域の実情に即した支援を検討する。

【鳥澤英紀代議員（岐阜）の代表質問に対する答弁】

## ■ 病院団体との緊密な連携、「さらに深める」 角田副会長

【日医代議員会・答弁要旨】日医と病院団体はそれぞれの立場から、意見が多少異なる場合も当然ある。しかし、われわれは国民の生命と健康を守ることが最大の使命だ。

急激な人口減少、物価高騰、人件費の上昇、災害や新興感染症など有事の対応と、厳しい環境の中で、医療界は大同団結して対応していく必要がある。3月26日に開催された日医・四病院団体協議会懇談会でも、改めて連携を確認した。

ご指摘のように、財務省などは財政的な見地から、診療報酬改定、医療機能の強制的な分化・集約などを念頭に、これまでも幾度となく、病院と診療所の分断を図ってきた。しかし、そのたびに強固な連携の下で対応してきた。

緊縮財政の立場からの恣意的な分断工作を今後とはね返すためには、医療界全体として状況を正確に把握し、その情報を全員で正しく共有することが極めて重要だ。そのために、情報発信や対話を続けていく。適切な医療現場の声を国や政府にしっかり届け、国民に資する医療政策を実現するために、医療界全体で一致団結して取り組んでいく。

日医は、医療界が一体・一丸となつての取り組みを、より一層進めていくためにも、引き続き病院団体との緊密な連携をさらに深めていく。

【案浦美雪代議員（福岡）の代表質問に対する答弁】



86

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 次の感染症有事、会議体に「全力で参画」

釜范副会長

【日医代議員会・答弁要旨】国は次なるパンデミックに備え「内閣感染症危機管理統括庁」を設置した。今年4月には「国立健康危機管理研究機構（JIHS）」を設立し、感染症の情報が集約されるようになる。現時点では新型コロナウイルス感染症対策のための有識者による会議は解散しているが、今後もしも有事の際には開催すると予想される。

有識者による会議で合意された内容と政府の政策判断は常に一致するものではなく、政府の責任において政策が選択されることを改めて確認したい。今後は政府の指揮系統が統括庁とJIHSにより取りまとめられることとなる。日医への協力要請に応じ、新たな会議体に全力で参画したいと考えている。

日医は平時から厚生労働省の感染症部会などに構成員として参画し、予防接種や感染症危機管理に関係する審議会などで意見を述べる立場にある。医療現場のリアルタイムな状況を把握しやすい立場にあり、新型コロナ対策でも役割を担うことができた。平時における発言を通じて、審議会の他の構成員や担当省庁の信頼を得ることが極めて重要だ。

さまざまな手段を駆使して直接国民に必要な情報を届けるとともに、さまざまなレベルで政府や国会議員に医療現場からの声を速やかに伝え、政策判断に生かされるよう引き続き全力で取り組みたい。【禹満代議員（京都）の代表質問に対する答弁】

## ■ 認知症施策の推進、かかりつけ医の役割も重要

江澤常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】共生社会の実現を推進するための認知症基本法が昨年1月に施行され、同年12月には政府の認知症施策推進基本計画が閣議決定された。地域共生社会を実現するツールである地域包括ケアの本質は地域づくりであり、地域の一員であるかかりつけ医の果たす役割も重要となる。

最近では地域ケア会議への医師の参画や、医療機関での認知症カフェなどの取り組みが増えている。日医・地域包括ケア推進委員会の前期の報告書でも、多くの好事例を発信した。引き続き、厚生労働省の担当部局など関係者と連携し、認知症施策をはじめとする共生社会に実現に向けて尽力していく。

抗アミロイドβ抗体薬に関しては、産業医が若年性認知症の就労支援に際し、主治医や事業所と連携して就業上の必要な措置を講じていくためにも、日医認定産業医の研修会などを通じて、本治療の情報を的確に発信できるよう随時検討していく。

認知症疾患医療センターが本来の役割を果たしていないというご指摘については、実績報告の見える化や、新規・更新の認定を行う都道府県協議会の役割も重要と考える。不適切な事例などがあれば、日医に一報をいただきたい。センターの質の向上は、引き続き厚労省などと協議していく。【丸木雄一代議員（埼玉）の代表質問に対する答弁】

2025年 3月31日 月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 働き方改革、地域医療への影響「今後も調査」

濱口常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医師の働き方改革による地域の医療提供体制への影響については、2024年4月の制度開始前と後に調査を行い、地域医療への影響の状況把握に努めてきた。結果として、調査時点では、制度開始前に各医療機関が想定したほど地域医療への影響は大きくなかったが、各地域の医療体制への影響や問題点が今後、どのように変化していくかは注意深く確認する必要がある。

日医では地域医療への影響を可能な限り把握するため、今後とも継続的に同様の調査を行う。

一方、地域の具体的な医療事情は都道府県医師会、郡市区医師会が最もタイムリーに把握されるだろう。その情報を日医に届けていただければ、問題点の解決等を国に要望していく。

開業医や病医院の管理者へのサポートについては、まずは窓口相談として、都道府県の医療勤務環境改善支援センターを活用していただければと考えているが、日医としても何らかの体制が取れないか、検討したい。

今後も医師の働き方改革に関する情報について、適宜、医療機関勤務環境評価センターのホームページなどを通じて医療機関に提供していく。

【中島均代議員（鹿児島）の代表質問に対する答弁】

## ■ 看護師等養成所、「サテライト構想」の支援要請へ

黒瀬常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】医師会立看護師等養成所が深刻な危機的状況に陥っていることを強く懸念している。他方、地域に根ざした医師の活動を支える重要な施設として、養成所がこれからの地域医療、地域包括ケアに果たす役割は決して小さくない。医療・介護は地域経済活動の大切な構成要素でもあるため、これを担う人材の養成・確保は地方行政にとっても喫緊の課題といえる。

日医の医療関係者検討委員会が提案した「サテライト構想」の趣旨は、学生の地元定着と養成所の人的・経済的な負担軽減の両立にある。厚生労働省からは、本提案の趣旨を理解した上で、人員や設備などの必要条件を満たせば本方式の実現は可能、との回答を得ている。

養成所の指定権限は都道府県に移譲されており、担当行政との協議が極めて重要である。中でも運営費に対する補助金に関して、サテライト化した場合に1校分と扱われるという点が大きな障壁となっている。

本会としても、行政と協働可能なモデルの検討を行うとともに、厚労省などの関係省庁、地方自治体、関連団体に対して、丁寧かつ強力に支援を要請していく。

【森俊明代議員（徳島）の代表質問に対する答弁】

88

2025年 3月31日月曜日

メディアファクス

9420号-2

## ■ 学校の災害共済給付、文書は「無料」維持

松岡常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】（医療機関が）学校に提出する文書は、3種類に大別される。1つ目として登校許可証には、文書料や学校の種別などの決まりはない。2つ目に、食物アレルギーや医療的ケア児などの児童・生徒の情報を提供する文書は、診療情報提供料（I）として保険適用が可能だ。

3つ目に、今回のご質問にある、災害共済給付制度の補償を受けるために必要な文書がある。この制度は、日本学校安全会により1960年度から始まった。

この文書の料金を徴収すると、「学校の管理下の事故ならば、学校の負担ではないか」という保護者の訴えなど、保護者と学校のトラブルが考えられ、医療機関も巻き込まれる可能性がある。当時の文部省からの協力要請もあり、日医は、子どもの健康と幸福のために無料にすることとし、都道府県医に60年に通知を発出した。

日本学校安全会の業務は、現在、日本スポーツ振興センター（JSC）が担う。この制度は（通知の）発出から60年以上たち、取り扱いが学校や保護者にも定着している。

改めて文書を発出するとなれば、JSCを所管するこども家庭庁、学校を所管する文部科学省が関係する国レベルの話となる。発出した当時の考えを尊重し、現状を維持していただくよう、よろしくお願いします。【橋爪英二代議員（山形）の代表質問に対する答弁】

## ■ ARIサーベイ、負担軽減へ今後も協議

笹本常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】感染症のパンデミックは平時からの備えが何よりも重要。重篤な被害をもたらす新興感染症の多くは呼吸器症状を呈することから、急性呼吸器感染症（ARI）の立ち上がりなどをデータとして把握することが必要だ。

今年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となる。いわゆる「風邪症状」が含まれる点について、多くの定点医療機関の負担となることが懸念されているのは指摘の通り。日医は厚生労働省と協議を重ね、報告の様式を改定した。ARIの集計については単独の項目とし、5歳刻みの簡易様式に変更した。感染症の把握・防止に向け、医療現場の負担を軽減しつつ柔軟性のある制度となるよう今後も協議したい。

定点医療機関の減少と統合は、諸外国の設置状況との比較などを考慮し決定された。厚労省は、定点減少によりデータの信頼性は失われないと説明している。医療機関の負担と併せて、正確な感染状況のデータ把握の担保について引き続き注視したい。

小児・妊婦に必要なワクチンの定期接種化の提案は大変重要だ。ワクチンにより防止できる疾患が増えるよう、国における議論で機を捉えて発言していく。

【河野幸治代議員（大分）の代表質問に対する答弁】

89

2025年 3月31日月曜日

メディファクス

9420号-2

## ■ 学校医不足、環境整備へ「継続して対処」

渡辺常任理事

【日医代議員会・答弁要旨】開業医の高齢化も問題になっており、新たな学校医のなり手が少ないといわれる状況では、今後、勤務医への依存度が高まることが想定される。しかし、現時点では、勤務医が学校健康診断に出務する環境が整っているとは言えない状況だ。勤務医が勤務時間内に学校健診に出務する場合、兼業の問題と移動や健診に対する補償の問題がある。

兼業に関して複数の病院管理者らに就業状況を確認したところ、病院ごとにさまざまな課題があることが分かった。日医は昨年から厚生労働省、文部科学省などと、個人の権利である有給休暇を利用するのではなく、業務として出務するにはどうすればよいかなどについて協議している。

病院の指示で出務した場合は労災保険が担保されるが、有給休暇を取得して出務した場合は労災補償がない。こうした労災や賠償保険の手当は環境整備の一つで、検討の余地がある。

勤務医の兼業に道が開けても、学校医活動をはじめとした医師会のかかりつけ医活動のどこを担ってもらうのかというバランスの問題もある。非常に重要な問題で、継続して対処したい。

【野中雅代議員（北海道）の代表質問に対する答弁】

MEDIFAXの記事を発行元の下承なく、転送・転載、翻訳、複写その他の複製、及びデータ使用等を行うことを禁止しています。無断で行った場合、損害賠償や著作権法の罰則の対象になる場合があります。

お問い合わせ 報道(記事の内容) : 03-3233-6351 / 販売(再送信・落丁・契約変更) : 03-3233-6336

★最新ニュースを随時更新中★ MEDIFAXweb <https://mf.jiho.jp/> メディファクス 検索

郡市医師会別医師会員数（令和7年4月1日現在）

ならびに会員異動（3月分）について

（1）郡市医師会別医師会員数（別紙）

（2）令和7年3月1日～3月31日までの、入会・退会・異動にかか  
る報告。（内訳は別紙）

今回報告数	．．．．．	2 1 2 名
入会	．．．．．	3 8 名
退会	．．．．．	1 0 6 名（死亡 7 名）
異動	．．．．．	6 8 名

## 郡市医師会別医師会員数(令和7年4月1日現在)

郡 市 医 師 会	A1	A2B	B	A2C	C	合 計
浦和医師会	324	121	151	6	32	634
川口市医師会	265	56	160	10	24	515
大宮医師会	291	94	232	17	75	709
川越市医師会	177	41	95	0	0	313
熊谷市医師会	118	28	86	0	12	244
行田市医師会	25	7	23	6	0	61
所沢市医師会	178	72	103	0	0	353
蕨戸田市医師会	114	22	51	8	1	196
北足立郡市医師会	145	45	96	0	16	302
上尾市医師会	88	15	58	0	18	179
朝霞地区医師会	193	42	103	19	14	371
草加八潮医師会	144	19	45	0	12	220
さいたま市与野医師会	70	34	41	20	1	166
入間地区医師会	73	20	41	0	0	134
飯能地区医師会	58	15	45	0	0	118
東入間医師会	126	42	45	0	0	213
坂戸鶴ヶ島医師会	90	25	23	0	0	138
狭山市医師会	60	19	54	0	13	146
比企医師会	114	24	60	0	0	198
秩父郡市医師会	71	28	17	0	0	116
本庄市児玉郡医師会	74	32	40	0	0	146
深谷寄居医師会	94	45	49	7	9	204
北埼玉医師会	73	24	19	4	20	140
南埼玉郡市医師会	137	49	60	0	12	258
越谷市医師会	145	98	225	53	13	534
春日部市医師会	103	40	97	0	17	257
岩槻医師会	49	17	45	0	0	111
北葛北部医師会	39	10	15	0	0	64
吉川松伏医師会	40	5	37	0	0	82
三郷市医師会	58	14	28	0	0	100
埼玉医科大学医師会	4	26	224	4	160	418
防衛医科大学校医師会	1	15	17	0	0	33
*** 総 計 ***	3,541	1,144	2,385	154	449	7,673
前月比	3	41	-34	-50	-28	-68

### 【埼玉県医師会会員区分】

A会員：日本医師会A1

B会員：日本医師会A2B・B

B特会員：日本医師会A2B・B【大学医師会会員】

C会員：日本医師会A2C・C

# 埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.1

日本医師会

年月日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考
所属医師会											
7/3/31	退会	医師会の異動			研修	舩ノコミ	336-8522	さいたま市緑区大字三室2460		048-873-4111	
浦和医師会	C → 退会					高野 富深			さいたま市立病院	048-873-5451	
7/3/31	退会	退職			研修	加藤カ ケンスケ	336-8522	さいたま市緑区大字三室2460		048-873-4111	
浦和医師会	C → 退会					片岡 賢佑			さいたま市立病院	048-873-5451	
7/3/31	退会	その他			研修	ツチヤ リウスケ	336-8522	さいたま市緑区大字三室2460		048-873-4111	転勤
浦和医師会	C → 退会					土屋了介			さいたま市立病院	048-873-5451	
7/3/31	退会	医師会の異動			他	伊ワタシオ	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18	社団法人浦和医師会	048-824-6811	
浦和医師会	A2B → 退会					一和多 俊男			メディカルセンター	048-833-6739	
7/3/31	退会	退職			内 脳内	オノ サヤカ	336-0918	さいたま市緑区松木3-16-6	医) 明医研	048-875-7888	
浦和医師会	A2B → 退会					小野 さやか			ハーモニークリニック	048-875-7885	
7/3/31	退会	退職			内	アサカ リナ	336-0042	さいたま市南区大谷口5320-1	医) 仁学会	048-874-4747	
浦和医師会	B → 退会					浅川 利奈			里村クリニック	048-874-4783	
7/4/1	入会				内 消内	伊タ ユウジ	336-0022	埼玉県さいたま市南区白幡5丁目 18-19 5F	医) 仁学会	048-864-0600	
浦和医師会	→ A1					稲田 宥治			里村消化器内科・胃と大腸内視鏡クリニ	048-864-0611	
7/4/1	異動	施設異動			研修	タカ カユキ	336-8522	さいたま市緑区大字三室2460		048-873-4111	
浦和医師会	C → A2B	会員区分変更				田中 孝幸			さいたま市立病院	048-873-5451	
7/4/1	入会				形外 皮	シミ ショウロウ	336-0967	埼玉県さいたま市緑区美園4-10-1			
浦和医師会	→ A1					自見 庄太郎		シモンイースト美園1F	オリーブ皮膚科・形成外科		
7/4/1	入会				外 消外	加サキ テツヤ	338-0837	さいたま市桜区田島4-35-17	医) 社団松弘会	048-866-1717	
浦和医師会	→ B					黒崎 哲也			三愛病院	048-866-1865	
7/4/1	入会				眼	幼ギ リナ	336-0025	さいたま市南区文蔵2-5-19	医) 委心会	048-714-0255	
浦和医師会	→ B					高木 理那		太田ビル102	とびた眼科	048-714-0256	
7/4/1	入会				内 消内	コハヤシ ミチコ	330-0063	埼玉県さいたま市浦和区高砂2丁目9-1	ミモザクリニック	048-767-7776	
浦和医師会	→ A1					小林 倫子		山口屋本店ビル3階		048-767-7716	
7/2/6	退会	死亡			内 消内	カワシマ アツシ	333-0802	川口市戸塚東1-18-6	医) 社団信和会	048-295-0511	
川口市医師会	A1 → 退会				外 整外	川嶋 淳			川嶋医院	048-295-5895	
7/2/28	退会	退職			内 精	ヒライ ヒサオ	333-0832	川口市神戸258-2	医) 社団桐和会	048-271-9562	
川口市医師会	B → 退会					平井 弥夫		川口サクラテラス2階	タムスさくらクリニック川口	048-271-9652	
7/1/21	入会				内 循内	シミ アスカ	337-0051	さいたま市見沼区東大宮2-58-10	医)	048-668-1222	
大宮医師会	→ A2B					三島 飛鳥			さくらクリニック	048-668-1211	
7/3/31	退会	退職			内 消内	コハヤシ トシナリ	330-0843	さいたま市大宮区吉敷町4-262-8	一医) 清流会	048-645-5884	
大宮医師会	A1 → 退会				外 肛	小林 利成		プリムローズセキグチ2F	新都心小林クリニック	048-645-5882	
7/3/31	退会	退職			内 外	クハラ テルマサ	330-0804	さいたま市大宮区堀の内町2-173	医) 社団双愛会	048-642-4130	
大宮医師会	A1 → 退会					栗原 照昌			双愛クリニック	048-642-8282	
7/4/1	入会				小	ハヤシ マキコ	331-0078	さいたま市西区西大宮1-1-11 1階	医) 愛和会	048-788-8811	
大宮医師会	→ B					林 真貴子			愛和病院附属西大宮小児科クリニック	048-788-8812	
7/4/1	異動	会員区分変更			小	フジタ ヒデトシ	331-0078	さいたま市西区西大宮1-1-11 1階	医) 愛和会	048-788-8811	
大宮医師会	A1 → B	管理者交代				藤田 英寿			愛和病院附属西大宮小児科クリニック	048-788-8812	
7/4/1	異動	会員区分変更			小	ウエハ トヲミツ	331-0078	さいたま市西区西大宮1-1-11 1階	医) 愛和会	048-788-8811	
大宮医師会	B → A1	管理者交代				上里 忠光			愛和病院附属西大宮小児科クリニック	048-788-8812	
7/4/1	異動	施設異動	管理者交代		内	ヤギ ミチコ	330-0804	さいたま市大宮区堀の内町2-173	医) 社団双愛会	048-642-4130	
大宮医師会	B → A1	会員区分変更				八木 道子			双愛クリニック	048-642-8282	
7/4/1	入会				内 消内	コハヤシ トシナリ	330-0856	さいたま市大宮区三橋1-1173	医) 明治会	048-644-0511	
大宮医師会	→ A2B				外 肛	小林 利成			西大宮病院	048-647-4876	
7/4/1	異動	会員区分変更			外 肛	シオヤ タケシ	331-0054	さいたま市西区島根299-1	医財)	048-626-0011	
大宮医師会	B → A1	管理者交代			消外	塩谷 猛			さいたま市民医療センター	048-799-5146	
7/4/1	異動	会員区分変更			内 循内	モモムラ シンイチ	331-0054	さいたま市西区島根299-1	医財)	048-626-0011	
大宮医師会	A1 → B	管理者交代				百村 伸一			さいたま市民医療センター	048-799-5146	
7/2/16	退会	死亡			小	クロモリ ノブハル	350-1102	川越市市場北1-6-30		049-231-0751	
川越市医師会	A2B → 退会					黒森 信治			黒森小児科クリニック	049-231-0046	
7/3/31	退会	医師会の異動			産 婦	シグロトモヒト	350-0001	川越市古谷上983-1	医) 愛和会	049-235-8811	
川越市医師会	B → 退会					石黒 共人			愛和病院	049-235-8829	
7/4/1	入会				小	オカモト ヒサヨ	350-0001	川越市古谷上983-1	医) 愛和会	049-235-8811	
川越市医師会	→ B					岡本 寿世			愛和病院	049-235-8829	

# 埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.2

日本医師会用

年月日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考
7/4/1	退会	退職			内	カガワ セイイチ	350-0809	川越市鯨井新田6-1	医)社団誠弘会	049-234-1411	
川越市医師会	B → 退会	医師会の異動				金川 誠一		第3今泉ビル2階	鶴ヶ島駅前クリニック	049-234-1414	
6/11/30	退会	その他			内 外	バエムツミ	360-0037	埼玉県熊谷市筑波2-48-1	医)あい友会	048-598-6584	人事異動に伴い
熊谷市医師会	A1 → 退会					野末 睦		熊谷大栄ビル2階	あい熊谷クリニック	048-501-5167	
6/12/1	入会				内	幼ハシ ジュン	360-0037	埼玉県熊谷市筑波2-48-1	医)あい友会	048-598-6584	
熊谷市医師会	→ A1					高橋 純		熊谷大栄ビル2階	あい熊谷クリニック	048-501-5167	
7/3/31	退会	退職			研修	アオキ シンゴ	361-0056	行田市持田376	医)社幸会	048-552-1111	
行田市医師会	A2C → 退会					青木 信悟			行田総合病院	048-553-2011	
7/3/31	退会	医師会の異動			研修	イバシ ナナコ	361-0056	行田市持田376	医)社幸会	048-552-1111	
行田市医師会	A2C → 退会					板橋 奈菜子			行田総合病院	048-553-2011	
7/3/31	退会	退職			研修	セリザワ ヒロキ	361-0056	行田市持田376	医)社幸会	048-552-1111	
行田市医師会	A2C → 退会					芹澤 啓紀			行田総合病院	048-553-2011	
7/2/14	入会				内	サカケ ユウキ	359-1106	所沢市東狭山ヶ丘4-2692-1	社医)至仁会	04-2920-0500	
所沢市医師会	→ A2B					永倉 悠揮			圏央所沢病院	04-2920-0501	
7/3/3	入会				消内	ヒダカ スグル	359-0037	埼玉県所沢市くすのき台1-12-3		04-2997-9719	
所沢市医師会	→ A1					日高 卓		holly grace1階	所沢駅前ひだか消化器内科肛門内視鏡	04-2997-9718	
7/3/31	退会	その他			内 消内	グドウ ヤスヒロ	359-1116	所沢市東町22-3		04-2922-2210	高齢のため
所沢市医師会	A2B → 退会					工藤 裕弘			所沢内科クリニック	04-2941-2024	
7/3/31	退会	退職			整外	マチダ ヨシオ	359-0044	所沢市松葉町4-22		04-2992-5873	
所沢市医師会	A1 → 退会					町田 良夫			町田整形外科医院	04-2992-5898	
7/3/31	退会	退職			研修	ミツヨウスケ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	C → 退会					三輪 要介			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/3/31	退会	退職			研修	マツダ リウマ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	C → 退会					松田 了磨			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/3/31	退会	退職			研修	フジイ タカ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	C → 退会					藤井 拓			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/3/31	退会	退職			研修	シマダ アスサ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	C → 退会					嶋田 あずさ			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/3/31	退会	退職			研修	オオサカ リサコ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	C → 退会					塩坂 理紗子			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/3/31	退会	退職			研修	オケヤマ ナツコ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	C → 退会					奥山 奈津子			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/3/31	退会	退職			研修	イマシタ ケイセイ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	C → 退会					今下 慧星			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/3/31	退会	医師会の異動			脳外 麻	キツキ ヒロシ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	B → 退会					木附 宏			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/4/1	入会				整外	サノ サカエ	272-0836	千葉県市川市北園分3-15-22			
蕨田市医師会	→ A2B					佐野 栄					
7/4/1	入会				研修	オハラ ヒロミ	335-0023	戸田市本町1-19-3	医)社団東光会	048-442-1111	
蕨田市医師会	→ A2B					小原 寛史			戸田中央総合病院	048-442-1115	
7/4/1	入会				産 婦	イグロ トモヒト	335-0022	戸田市上戸田2-26-3	医)社団東光会	048-444-1181	
蕨田市医師会	→ B					石黒 共人			戸田中央産院	048-444-6993	
7/3/31	退会	その他			産婦	イソノ リコ	364-8501	北本市荒井6-100	学校法人北里研究所	048-593-1212	一身上の都合
北足立郡市医師会	B → 退会					磯野 梨子			北里大学メディカルセンター	048-593-1239	転勤
7/3/31	退会	その他			内 糖内	オダ サトシ	365-0038	鴻巣市本町3-5-21		048-540-0088	
北足立郡市医師会	B → 退会					小田 慧			サンビレッジクリニック鴻巣	048-540-0085	
7/3/31	退会	その他			形外	アンドウ ユウキ	364-8501	北本市荒井6-100	学校法人北里研究所	048-593-1212	一身上の都合
北足立郡市医師会	B → 退会					安藤 優希			北里大学メディカルセンター	048-593-1239	
7/3/31	退会	その他			形外	イトウ リサコ	364-8501	北本市荒井6-100	学校法人北里研究所	048-593-1212	一身上の都合
北足立郡市医師会	B → 退会					伊藤 里沙子			北里大学メディカルセンター	048-593-1239	
7/4/1	異動	会員区分変更			小 糖内	コウノ トモユキ	365-0038	鴻巣市本町5-5-27		048-541-0146	
北足立郡市医師会	B → A1	管理者交代				河野 智敬			河野小児科医院	048-541-0147	
7/4/1	異動	会員区分変更			内 アレ	コノ ヒロトモ	365-0038	鴻巣市本町5-5-27		048-541-0146	
北足立郡市医師会	A1 → A2B	管理者交代			小	河野 英智			河野小児科医院	048-541-0147	



# 埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.3

日本医師会用

年 月 日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏 名	郵便番号	住 所	医 療 機 関	電話番号 FAX番号	備 考
7/4/1	異動	施設異動			整外	形外	ハシモ マサキ	365-0038	鴻巣市本町3-5-8	048-541-0914	
北足立都市医師会	A1 → A2B	会員区分変更				橋本 昌明			みだ眼科周行医院	048-501-5767	
6/12/23	退会	死亡			内	ナカムラ カツヤ	362-0034	上尾市愛宕2-4-1		048-774-8262	
上尾市医師会	B → 退会					中村 勝也				048-774-8262	
7/4/1	異動	会員区分変更			皮	クハラ ミドリ	362-0074	上尾市春日2-24-1		048-778-0678	
上尾市医師会	A1 → B	廃業				栗原 みどり			みどり皮膚科クリニック	048-774-0777	
7/3/1	異動	会員区分変更			内	呼内	サカモト ケイ	351-0011	朝霞市本町1-34-1	医)五穀会	048-424-7301
朝霞地区医師会	A2B → A1					坂本 圭		ポンビラージュテナント1F	まただ訪問クリニック	048-424-7302	
7/3/31	退会	医師会の異動			研修	オハラ ヒロフミ	352-0001	新座市東北1-7-2	医)社団武蔵野会	048-474-7211	
朝霞地区医師会	A2C → 退会					小原 寛史			新座志木中央総合病院	048-472-7581	
7/3/31	退会	医師会の異動			リハ	マツナガ ヒロアス	351-0102	和光市諏訪2-1	独行法)国立病院機構	048-462-1101	
朝霞地区医師会	A2B → 退会					松永 洋一			埼玉病院	048-464-1138	
7/3/31	退会	退職			内	消内	タマザウ テツヤ	352-0003	新座市北野2-14-8	医)昭仁会	048-481-1621
朝霞地区医師会	B → 退会					玉澤 哲哉			北野病院	048-481-3235	
7/3/31	退会	その他			内	小	イワサキ ヤスコ	353-0004	志木市本町6-3-9	医)	048-474-7474
朝霞地区医師会	B → 退会				皮	岩崎 泰子			岩崎小児科医院	048-473-2326	
7/3/31	退会	退職			小	ササキ ミチコ	351-0033	朝霞市浜崎1-2-10		048-476-3002	
朝霞地区医師会	B → 退会					佐々木 道子		アゴラ21ビル6階	北朝霞・朝霞台えきまえ	048-476-3665	
7/4/1	入会				眼	イノウエ アキラ	352-0011	新座市野火止7-5-76	医)社団豊栄会	048-479-1313	
朝霞地区医師会	→ A1					井上 亮			中島眼科	048-479-1303	
7/4/1	入会				泌	マツシタ カズヒト	351-0023	朝霞市溝沼1340-1	医)社団武蔵野会	048-466-2055	
朝霞地区医師会	→ B					松下一仁			TMGあさか医療センター	048-466-2059	
7/4/1	異動	会員区分変更			内	ミハラ ユウコ	352-0022	新座市本多1-3-8	医)社団	048-483-2222	
朝霞地区医師会	B → A1	管理者交代				三原 結子			堀ノ内クリニック	048-483-2221	
7/4/1	異動	会員区分変更			内	キムラ トモコ	352-0022	新座市本多1-3-8	医)社団	048-483-2222	
朝霞地区医師会	A1 → A2B	管理者交代				木村 素子			堀ノ内クリニック	048-483-2221	
7/4/1	入会				内	消内	ヤマモト ケンイチロウ	340-0041	埼玉県草加市松原2-1-3	0489-60-0634	
草加八潮医師会	→ A1					山本 健一郎		SAIYU 5th VILLAGE 3階	草加松原 消化器・内視鏡クリニック	0489-60-0635	
7/3/31	退会	医師会の異動			循内	ホヅウ カイセイ	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	
さいたま市与野医師会	A2C → 退会					細川 凱生			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/3/31	退会	その他			研修	ウダガワ レナ	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	転職
さいたま市与野医師会	A2C → 退会					宇田川 礼奈			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/3/31	退会	その他			研修	コハヤシ マサオ	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	
さいたま市与野医師会	A2C → 退会				研修	小林 正直			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/3/31	退会	医師会の異動			研修	ヤマグチ マキ	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	
さいたま市与野医師会	A2C → 退会					山口 真輝			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/3/31	退会	医師会の異動			整外	イシイ ケンシ	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	
さいたま市与野医師会	B → 退会					石井 研史			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/3/31	退会	退職			小	ハナノ シンイチロウ	330-8777	さいたま市中央区新都心1-2		048-601-2200	
さいたま市与野医師会	B → 退会					濱野 晋一郎			埼玉県立小児医療センター	048-601-2201	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	オノ ユウジ	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	
さいたま市与野医師会	A2C → A2B					小野 祐司			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/4/1	異動	会員区分変更			循内	サウレン	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	
さいたま市与野医師会	A2C → A2B					佐藤 蓮			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	タカハシ カキ	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	
さいたま市与野医師会	A2C → A2B					高橋 香帆			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	デバリ ユウジ	330-8553	さいたま市中央区新都心1-5		048-852-1111	
さいたま市与野医師会	A2C → A2B					出張 優士			さいたま赤十字病院	048-852-3120	
7/2/17	退会	死亡			小	皮	カンノ クララ	357-0032	飯能市本町16-9	一医)	042-972-2440
飯能地区医師会	A1 → 退会					神野 クララ			本町診療所	042-972-5556	
7/4/1	入会				小	モリワキ コウイチ	357-0065	埼玉県飯能市大河原934-2	一社)夢工房	042-980-5372	
飯能地区医師会	→ A1					森脇 浩一			こどものクリニック つむぎ	042-980-5374	
7/4/1	入会				婦	キバタ ユウタ	350-1245	日高市栗坪230-1	一医)社団輔正会	042-986-1110	
飯能地区医師会	→ A2B					木下 優太			岡村記念クリニック	042-986-1130	

# 埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.4

日本医師会用

年月日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住 所	医 療 機 関	電話番号 FAX番号	備 考
所 属 医 師 会											
7/2/21	退会	死亡			全	シバ ケシ	354-0024	富士見市鶴瀬東1-8-19	医)一樹会	049-251-0200	
東入間医師会	A1 → 退会					篠田 毅			篠田中央クリニック	049-255-4412	
7/2/22	異動	会員区分変更 管理者交代			内 小	シバ マリコ	354-0024	富士見市鶴瀬東1-8-19	医)一樹会	049-251-0200	
東入間医師会	B → A1					篠田 真理子			篠田中央クリニック	049-255-4412	
7/3/31	退会	その他			脳外	サキウチ タカオ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					鷲内 隆雄			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			産婦	オノ ヨシサ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					小野 義久			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			内 腎内	タヤマ ヨウスケ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					田山 陽資			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			内	ナカ ヒデオ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					中 秀雄			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			小	ネギシ ジュン	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					根岸 潤			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			麻	アガネ ヒロシ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					赤嶺 齊			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			外 消外	フジノ ケイイチ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					藤野 啓一			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			放	ミズノ カ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					水越 和歌			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			循外	カズノ ケイ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					数野 圭			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			循外	トウハラ タユキ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					東原 宣之			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			外 小外	フルヤ タケシ	354-0021	富士見市鶴馬1967-1	医)財団明理会	049-251-3060	病院の決 定のため
東入間医師会	B → 退会					古屋 武史			イムス富士見総合病院	049-254-1224	
7/3/31	退会	その他			内 糖内	サイノウ シゲノブ	350-0275	坂戸市伊豆の山町22-10		049-289-8787	体調不良 等
坂戸鶴ヶ島医師会	A1 → 退会					斎藤 重信		トータスビル1F	さいとう内科クリニック	049-289-8784	
7/3/31	退会				内	ムラミ トオル	350-0272	坂戸市末広町6-9	社会医)社団 新都市医療研究会	049-227-9399	勤務先変 更の為
坂戸鶴ヶ島医師会	A1 → 退会					村上 徹			関越腎クリニック	049-227-9820	
7/3/31	退会	退職			消内	サカラ シゲコ	350-2204	鶴ヶ島市鶴ヶ丘71-8	一医)充仁会	049-285-6511	
坂戸鶴ヶ島医師会	B → 退会					相良 重子			たきがわクリニック		
7/4/1	異動	会員区分変更 管理者交代	廃業B		消内	サカラ マサヒコ	350-2204	鶴ヶ島市鶴ヶ丘71-8	一医)充仁会	049-285-6511	
坂戸鶴ヶ島医師会	A1 → B					相良 正彦			たきがわクリニック		
7/4/1	異動	会員区分変更			外 肛	タケガワ トミ子	350-2204	鶴ヶ島市鶴ヶ丘71-8	一医)充仁会	049-285-6511	
坂戸鶴ヶ島医師会	B → A1				消外	滝川 利通			たきがわクリニック		
7/4/1	入会				内	カネガワ セイイチ	350-0272	坂戸市末広町6-9	社会医)社団 新都市医療研究会	049-227-9399	
坂戸鶴ヶ島医師会	→ A1					金川 誠一			関越腎クリニック	049-227-9820	
7/4/1	異動	会員区分変更			内	カワノ ノボル	350-2203	鶴ヶ島市上広谷17-14		049-285-1530	
坂戸鶴ヶ島医師会	A2B → B					川野 昇			川野医院	049-286-0116	
7/1/26	退会	死亡			内 消内	ハヤカワ トモオ	350-1317	狭山市大字水野600	医)尚寿会	04-2957-1141	
狭山市医師会	B → 退会					早川 富雄			狭山尚寿会病院	04-2957-1146	
7/3/31	退会	その他			研修	ニシヘ アキラ	350-1305	狭山市入間川2-37-20	社医)財団石心会	04-2953-6611	一身上の 都合
狭山市医師会	C → 退会					西部 輝			埼玉石心会病院	04-2953-8040	
7/4/1	退会	医師会の異動			内 循内	イワサキ ツカサ	350-1305	狭山市入間川2-37-20	社医)財団石心会	04-2953-6611	
狭山市医師会	B → 退会					岩崎 司			埼玉石心会病院	04-2953-8040	
6/12/1	異動	会員区分変更			呼内 消内	サイマヤ	355-0317	比企郡小川町原川205	医)社団宏仁会	0493-73-2750	
比企医師会	B → A1				循内 リハ	崔 正哉			小川病院	0493-72-5192	
7/3/31	退会	退職			内 精	サトウ コウヘイ	355-0021	東松山市神明町2-16-15	医)社団ケア・トラスト	0493-81-6375	
比企医師会	B → 退会				整外 泌	齊藤 航平		フェルトドルフ1階B	東松山在宅診療所	0493-81-6376	
7/3/31	退会	退職			内	イヅカ マユミ	355-0328	比企郡小川町大塚86	医)慶愛会	0493-72-0362	
比企医師会	A1 → 退会					飯塚 真弓			原医院	0493-72-0362	
7/4/1	異動	会員区分変更			外 研修	ナギキ アキ子	355-0227	比企郡嵐山町千手堂693	医)	0493-61-1810	
比企医師会	A2C → A2B					野崎 啓達			野崎クリニック	0493-61-1820	

# 埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.5

日本医師会用

年月日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考
所属医師会											
7/4/1	入会				内	コウイウウタ	350-0158	比企郡川島町大字伊草96-1	医)啓仁会	049-297-8783	
比企医師会	→ A1					小岩井 悠太			川島クリニック	049-297-8746	
7/4/1	異動	会員区分変更			内 消内	ヤマモト アズサ	355-0064	東松山市毛塚910-1		0493-35-1830	
比企医師会	B → A1	管理者交代			消外	山本 梓			笠原クリニック	0493-35-1118	
7/4/1	異動	会員区分変更			内 小	イノヒロヒデ	355-0064	東松山市毛塚910-1		0493-35-1830	
比企医師会	A1 → A2B	管理者交代			皮	猪野 裕英			笠原クリニック	0493-35-1118	
7/1/16	退会	退職			内 消内	ホンマ タツシ	367-0044	本庄市見福3-5-6	一医)真誠会	0495-27-6360	
本庄市児玉郡医師会	B → 退会				循内 小	本間 達志			本間内科皮膚科クリニック	0495-27-6370	
7/3/31	退会	退職			内	ハシモト ヨシアキ	367-0063	本庄市下野堂1-13-27	医)柏成会	0495-24-3005	
本庄市児玉郡医師会	B → 退会					橋本 良明			青木病院	0495-24-3007	
7/4/1	入会				小	ミヤカワ ヒロ	366-0033	深谷市国済寺408-5	医)良仁会	048-571-1171	
本庄市児玉郡医師会	→ A2B					宮川 千弘			桜ヶ丘病院	048-574-1756	
7/4/1	入会				外 消外	シゲハラ ケンゴ	367-0031	本庄市北堀1780	医)本庄福島病院	0495-22-6111	
本庄市児玉郡医師会	→ B					重原 健吾			本庄総合病院	0495-24-5765	
7/4/1	入会				内 循内	ナカムラ サトコ	367-0022	本庄市日の出3-7-26	医)中村会	0495-21-6211	
本庄市児玉郡医師会	→ B					中村 智子			中村外科医院	0495-22-3135	
7/3/31	退会	退職			産婦	マツモト チエコ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1		048-571-1511	
深谷寄居医師会	B → 退会					松本 智恵子			深谷赤十字病院	048-573-5351	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	クボタ ショウヘイ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1		048-571-1511	
深谷寄居医師会	C → A2B					久保田 祥平			深谷赤十字病院	048-573-5351	
7/4/1	異動	施設異動			精	イシダ ヒサシ	369-1246	深谷市小前田628-11	医)社団かんな会	048-577-8401	
深谷寄居医師会	→ A2B	勤務先				石田 尚			花園メンタルクリニック	048-577-8402	
7/4/1	異動	会員区分変更			外	イトウ ヒロシ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1		048-571-1511	
深谷寄居医師会	A1 → B	管理者交代				伊藤 博			深谷赤十字病院	048-573-5351	
7/4/1	異動	会員区分変更			外	イシカワ フミコ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1		048-571-1511	
深谷寄居医師会	B → A1					石川 文彦			深谷赤十字病院	048-573-5351	
7/4/1	入会				産婦	スズキ ナカズミ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1		048-571-1511	
深谷寄居医師会	→ B					鈴木 永純			深谷赤十字病院	048-573-5351	
7/4/1	入会				消内	スガ マサヒロ	366-0052	深谷市上柴町西5-8-1		048-571-1511	
深谷寄居医師会	→ B					須賀 政裕			深谷赤十字病院	048-573-5351	
7/3/31	退会	退職			研修	サカモト リク	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
南埼玉都市医師会	C → 退会					坂本 竜胡			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/3/31	退会	退職			循内	マエフチ ダイスケ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
南埼玉都市医師会	B → 退会					前瀬 大輔			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/3/31	退会	退職			研修	ニシメ リョウ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
南埼玉都市医師会	C → 退会					西銘 亮			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/3/31	退会	退職			研修	ヤマモト カナタ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
南埼玉都市医師会	C → 退会					山元 幹太			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/3/31	退会	退職			研修	ノミ シンバク	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
南埼玉都市医師会	C → 退会					能美 慎之介			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/3/31	退会	退職			研修	クボタ カイ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
南埼玉都市医師会	C → 退会					久保田 魁			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/3/31	退会	退職			研修	カイ ヒサシ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	
南埼玉都市医師会	C → 退会					甲斐 久禎			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/3/31	退会	その他			研修	イケダ リョウ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	研修医修了のため
南埼玉都市医師会	C → 退会					池田 遼			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/3/31	退会	その他			研修	タケイ ミツキ	346-8530	久喜市上早見418-1	医)社団 埼玉巨樹の会	0480-26-0033	転職
南埼玉都市医師会	C → 退会					竹市 光希			新久喜総合病院	0480-44-8026	
7/2/28	退会	退職			内 リハ	サカイ ヒロキ	343-0002	越谷市平方343-1	医)敬愛会	048-974-1171	
越谷市医師会	B → 退会					酒井 啓行			リハビリテーション天草病院	048-977-9495	
7/3/31	退会	退職			内	カハシ トモミ	343-0856	越谷市谷中町4-25-5	医)社団協友会	048-966-2711	
越谷市医師会	B → 退会					高橋 智美			越谷誠和病院	048-966-5016	
7/3/31	退会	医師会の異動			耳	ウエタ リュウタロウ	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	C → 退会					上田 龍太郎			越谷市立病院	048-965-3019	

# 埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.6

日本医師会用

年月日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住 所	医 療 機 関	電話番号 FAX番号	備 考
所属医師会											
7/3/31	退会	退職			消内	ササキ ジュン	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	B → 退会					佐々木 淳			越谷市立病院	048-965-3019	
7/3/31	退会	医師会の異動			研修	ツヅリ サコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	C → 退会					辻 理彩子			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/3/31	退会	退職			研修	オカダ リサ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → 退会					岡田 理沙			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/3/31	退会	医師会の異動			研修	外ウ リウタロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → 退会					工藤 遼太郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/3/31	退会	退職			研修	ワタベ コウイチロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → 退会					渡邊 耕一郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/3/31	退会	退職			産婦	イカトモ	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	B → 退会					糸賀 知子			越谷市立病院	048-965-3019	
7/3/31	退会	退職			泌	オカダ ヒロシ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	B → 退会					岡田 弘			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/3/31	退会	その他			研修	アリカ ヒロミ	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	C → 退会					有賀 大穂			越谷市立病院	048-965-3019	
7/3/31	退会	その他			呼内	アレ	343-0856	越谷市谷中町4-25-5	医)社団協友会	048-966-2711	不要なため
越谷市医師会	B → 退会					佐藤 構造			越谷誠和病院	048-966-5016	
7/3/31	退会	退職			整外	ムラミ ケイジ	343-0851	越谷市七左町1-304-1	医)健身会	048-990-0777	
越谷市医師会	A2B → 退会					村上 圭二			南越谷健身会クリニック	048-990-0771	
7/3/31	退会	退職			整外	オノ リュウイチ	343-8577	越谷市東越谷10-32		048-965-2221	
越谷市医師会	B → 退会					大野 隆一			越谷市立病院	048-965-3019	
7/3/31	退会	医師会の異動			研修	イヌミ サキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → 退会					和泉 彩貴			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	入会				糖尿	イシワタ テサト	343-0828	越谷市レイクタウン8-10-6	医)レイクタウン内科	048-967-5012	
越谷市医師会	→ A2B					石渡 千聖		レイクタウンDMビル2階	越谷レイクタウン内科	048-967-5013	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	イノマタ コウタロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					猪又 光太郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	カシワラ リウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → B					梶原 峻			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			腎内	フジタ ノゾミ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					藤田 望			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			整外	モリダイ ユウタ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					森平 雄太			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	ヤマグチ ユウタロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					山口 雄太郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			小	オノカ ヒデヲ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					田中 秀典			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			腎内	ツチヤ コウキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					土屋 宏輝			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			整外	タテシ ショウマ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					立石 翔馬			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			眼	ユキサダ マサコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	C → A2B					行定 雅子			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			麻	ユシ コウタロウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → B					湯地 晃太郎			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			麻	イワサキ リコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → B					岩崎 陸央			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			眼	トナキ ナオヤ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					渡名喜 尚也			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			眼	マチダ シンケイ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	B → A1	管理者交代				町田 繁樹			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	入会				研修	イシジマ ユウタ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50		048-965-1111	
越谷市医師会	→ B					飯島 裕太			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	

# 埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.7

日本医師会用

年月日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏名	郵便番号	住所	医療機関	電話番号 FAX番号	備考
7/4/1	異動	会員区分変更			小	イトウ ケイタ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					伊藤 達大			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			脳内	ハシヤマ コウキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					神山 昂輝			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			整外	アベ コウダイ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					阿部 祐大			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			眼	カワムラ マサキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					川村 征貴			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			麻	オウタ ヤスヒサ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A1 → B	管理者交代				奥田 泰久			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	入会				消内 外	サカエ カズヒロ	343-8577	越谷市東越谷10-32	越谷市立病院	048-965-2221	
越谷市医師会	→ A1				肛 消外	坂本 一博			越谷市立病院	048-965-3019	
7/4/1	異動	会員区分変更			脳外	マルキ カシ	343-8577	越谷市東越谷10-32	越谷市立病院	048-965-2221	
越谷市医師会	A1 → B	管理者交代				丸本 親			越谷市立病院	048-965-3019	
7/4/1	入会				内	ヨシマツ ヒロオミ	343-0845	越谷市南越谷4-5-3	一医)	048-985-1626	
越谷市医師会	→ B					吉松 寛臣			加藤医院	048-989-8021	
7/4/1	入会				外 乳外	ワタ ユミ	343-0845	越谷市南越谷1-19-2	一医) 美大会	048-988-5550	
越谷市医師会	→ B					深津 裕美		アバンセ南越谷5階	乳腺レディースクリニック越谷	048-988-5551	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	ナカタ アカネ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					中田 朱音			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	効キ オウ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					高木 央			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			脳内	オノ ナホ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					小野 七菜子			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			腎内	オキハラ ユイ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					萩原 優衣			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			脳外	マツザキ テッペイ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					松野 哲平			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			乳外	モリ リコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	名字変更
越谷市医師会	A2C → A2B	現住所変更				森 梨香子			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			小	ワシオ カシ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					鷺尾 高志			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			内 循内	イカイ コウスケ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					井貝 晃輔			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動				麻	モリ ユウキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → B					森 有輝			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			乳外	エロヤマ ユウカ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					横山 夕果			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			精	オクラ ミア	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					小倉 美晶			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			消内	カノウ ハルカ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					加藤 陽佳			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			呼内	サマタ カナ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					佐俣 佳奈			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	サノウ テンマ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					佐藤 天馬			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			腎内	マツカワ ユウカ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					松川 優佳			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			産婦	クラタ ユリコ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					倉田 百合子			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			泌	カサキリ ハルト	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					片桐 遼人			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	
7/4/1	異動	会員区分変更			脳内	ホシカワ ハルキ	343-8555	越谷市南越谷2-1-50	獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1111	
越谷市医師会	A2C → A2B					星川 遥紀			獨協医科大学埼玉医療センター	048-965-1127	

# 埼玉県医師会々員入会・退会異動報告書

令7.3.1～令7.3.31

令和7年4月1日報告

No.8

日本医師会用

年 月 日	変更区分 会員種別	変更事由1 変更事由2	変更事由3 変更事由4	変更事由5 変更事由6	診療科目	氏 名	郵便番号	住 所	医 療 機 関	電話番号 FAX番号	備 考
所 属 医 師 会											
7/5/31	退会	その他			内	ヒロセ 千代	343-0856	越谷市谷中町4-25-5	(医) 社団協友会	048-966-2711	
越谷市医師会	B → 退会					廣瀬 千紘			越谷誠和病院	048-966-5016	
6/12/1	入会				研修	ヤマグチ カイト	344-8588	春日部市中央6-7-1		048-735-1261	
春日部市医師会	→ C					山口 海人			春日部市立医療センター	048-734-2471	
6/12/1	入会				研修	ネギツ シュンタロウ	344-8588	春日部市中央6-7-1		048-735-1261	
春日部市医師会	→ C					根岸 駿太郎			春日部市立医療センター	048-734-2471	
7/1/26	退会	死亡			整外	イトウ ユウジ	344-0033	春日部市備後西3-8-57	(医)	048-745-6000	
春日部市医師会	B → 退会					伊藤 毅			浜崎医院	048-745-6099	
7/2/25	退会	退職			研修	イトウ ナナコ	344-0035	春日部市谷原新田1200	(医) 秀和会	048-737-2121	
春日部市医師会	C → 退会					伊藤 菜々子			秀和総合病院	048-737-2903	
7/3/31	退会	退職			内 糖内	ナカヤマ アリ	344-0035	春日部市谷原新田1200	(医) 秀和会	048-737-2121	
春日部市医師会	B → 退会					中山 愛梨			秀和総合病院	048-737-2903	
7/4/1	入会				呼内	ヌカイ ヨシサ	344-0035	春日部市谷原新田1200	(医) 秀和会	048-737-2121	
春日部市医師会	→ B					貫井 義久			秀和総合病院	048-737-2903	
7/1/31	退会	その他			整外	イダ マサル	339-0009	さいたま市岩槻区慈恩寺75番地	(医) 社団医風会	048-793-2011	管理者変更
岩槻医師会	A1 → 退会					飯田 勝			さいたま岩槻病院	048-793-2012	
7/2/1	入会				リハ	スズキ エイジ	339-0009	さいたま市岩槻区慈恩寺75番地	(医) 社団医風会	048-793-2011	
岩槻医師会	→ A1					鈴木 英二			さいたま岩槻病院	048-793-2012	
7/3/31	退会	退職			内 消内	オオノンドシキ	339-8521	さいたま市岩槻区本町2-10-5	(医) 慈正会	048-757-3511	
岩槻医師会	B → 退会					大西 敏樹			丸山記念総合病院	048-756-6061	
7/4/1	入会				整外	ヤマザキ 幼ヒト	342-0061	吉川市中央1-15-20	(医) 社団昭明会	048-981-6755	
吉川松伏医師会	→ A1					山崎 隆仁			吉川整形外科	048-982-2301	
7/3/31	退会	退職			研修	イワモト サラ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38		049-276-2107	
埼玉医科大学医師会	C → 退会					岩元 婆羅			埼玉医科大学病院	049-294-8222	
7/3/31	退会	医師会の異動			小	モリタキ コウイチ	350-8550	川越市鴨田1981		049-228-3400	
埼玉医科大学医師会	B → 退会					森脇 浩一			埼玉医科大学総合医療センター	049-226-5274	
7/3/31	退会	その他			脳内	スダ サトシ	350-1298	日高市山根1397-1		042-984-4111	異動
埼玉医科大学医師会	B → 退会					須田 智			埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0432	
7/3/31	退会	退職			産婦 産	マスコ ヒロコ	350-8550	川越市鴨田1981		049-228-3400	
埼玉医科大学医師会	A2B → 退会					増子 寛子			埼玉医科大学総合医療センター	049-226-5274	
7/3/31	退会	医師会の異動			血内	ツカサキ ケヒロ	350-1298	日高市山根1397-1		042-984-4111	
埼玉医科大学医師会	A2B → 退会					塚崎 邦弘			埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0432	
7/3/31	退会	退職			研修	ヤマモト アンス	350-1298	日高市山根1397-1		042-984-4111	
埼玉医科大学医師会	C → 退会					山本 あんず			埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0432	
7/3/31	退会	退職			研修	イジマ ユウタ	350-8550	川越市鴨田1981		049-228-3400	
埼玉医科大学医師会	A2C → 退会	医師会の異動				飯島 裕太			埼玉医科大学総合医療センター	049-226-5274	
7/3/31	退会	退職			内 消内	トミヤトモアキ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38		049-276-2107	
埼玉医科大学医師会	B → 退会					富谷 智明			埼玉医科大学病院	049-294-8222	
7/4/1	異動	会員区分変更			リウ	ヒラカ ヨシキ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38		049-276-2107	
埼玉医科大学医師会	C → A2B					平岡 佳樹			埼玉医科大学病院	049-294-8222	
7/4/1	入会				研修	外ウ マサキ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38		049-276-2107	
埼玉医科大学医師会	→ A2B					工藤 雅希			埼玉医科大学病院	049-294-8222	
7/4/1	異動	会員区分変更			研修	タカ シュンヤ	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38		049-276-2107	
埼玉医科大学医師会	C → A2C					田中 俊也			埼玉医科大学病院	049-294-8222	
7/4/1	退会	医師会の異動			他	ホリヤ タシ	359-8513	所沢市並木3-2		04-2995-1211	
防衛医科大学校医師会	B → 退会					細谷 直			防衛医科大学校	04-2996-5212	

小室常任

飯嶋理事

令和6年度 埼玉県医師会 医療情報関連講演会

医療 DX の推進

日時：令和7年3月6日（木）18:00～19:45

場所：埼玉県県民健康センター 1階 大会議室 AB

【及びWEB配信】

司会：埼玉県医師会理事 飯嶋 淳滋

1. 開 会

2. 挨拶 埼玉県医師会副会長 水谷 元雄

3. 講演会 座長：埼玉県医師会常任理事 小室 保尚

I 「医療 DX の全体像について」 (18:05～18:50)

講師：日本医師会常任理事 長島 公之 先生

II 「全国医療情報プラットフォームの状況について」 (18:55～19:40)

講師：厚生労働省医政局参事官（特定医薬品開発支援・医療情報担当）付

医療情報室 室長 新畑 覚也 氏

4. 閉 会 埼玉県医師会常任理事 小室 保尚

※日本医師会生涯教育講座（1単位、CC；9. 医療情報、12. 地域医療）

12:00 ～ (110分)	<b>事務局セッション</b> 座長／佐藤委員, 福嶋委員, 前田委員 ① 日本医師会の情報システム最新報告（10分） 日本医師会 Web 研修システム・誹謗中傷に関する相談窓口（google ロコ ミ）の新設報告など 情報システム課係長 増子厚 ② HPKI の最新の動き（15分） 電子認証センターシステム開発研究部門長 矢野一博 ③ 新会員情報管理システム（MAMIS）を有効活用するためのポイントとセ キュリティについて（20分） 情報システム課会員情報室長 若井修治 ・質疑応答（15分） ④ 最新のサイバーセキュリティについて（40分） 警察庁サイバー警察局サイバー企画課官民連携推進室 ・質疑応答（10分）
13:50～	<休憩 10分>
14:00～ (10分)	<b>開会挨拶</b> 日本医師会会長 松本吉郎 石川県医師会会長 安田健二
14:10～	<休憩 5分>
14:15～ (140分)	<b>I. 災害かつ再生に役立つ医療DX（仮）</b> 座長／長尾委員, 佐原常任理事 ・厚生労働省医政局参事官(特定医薬品開発支援・医療情報担当) 田中彰子 (20分) ・厚生労働省医政局地域医療計画課 災害等救急時医療・周産期医療等対策室室長 近藤祐史 (20分) ・日本医師会常任理事・さはらファミリークリニック 佐原博之 (20分) ・公立穴水総合病院院長 島中公志 (20分) ・(調整中) ・公立松任石川中央病院 PET センター長 横山邦彦 (20分) ・日医総研主任研究員 秋富慎司 (20分)
16:35～	<休憩 10分>
16:45～ (60分)	<b>[パネルディスカッション]</b> <b>講師＋座長＋長島常任理事 (60分)</b>
17:45～	<移動時間 10分>
17:55～ (60分)	<b>懇親会（立食）予定（3F小講堂）</b>



令和7年3月9日（日）

総合司会：日本医師会常任理事 長島公之

10:00～ (100 分)	<p><b>Ⅱ. 医療 DX と地域医療情報連携ネットワーク</b></p> <p>座長／合地委員, 吉原委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療 DX の全国医療情報プラットフォームと地域医療連携ネットワーク 日本医師会常任理事 長島公之 (20 分)</li> <li>・ 全国医療情報プラットフォーム時代の地域 EHR の終い方～とねっとのその後～ (仮) 医療法人南越谷内科クリニック院長・理事長 中野智紀 (20 分)</li> </ul> <p><b>【事例報告募集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (20 分)</li> <li>・ (20 分)</li> </ul> <p><b>[総合討論] (20 分)</b></p>
11:40～ (50 分)	<休憩 50 分>
12:30～ (80 分)	<p><b>Ⅲ. 医療 DX について</b></p> <p>座長／川田委員, 目々澤委員</p> <p>① 国が推進する医療 DX (40 分) ※標準型電子カルテ含む、標準型電子カルテ α 版展示 厚生労働省医政局参事官（特定医薬品開発支援・医療情報担当） 田中彰子</p> <p>② オンライン資格確認 (20 分) 厚生労働省保険局医療介護連携政策課長 山田章平</p> <p>③ 電子処方箋について (20 分) 厚生労働省大臣官房総務課企画官（医薬局併任）兼 電子処方箋サービス推進室長 猪飼裕司</p>
13:50～	<休憩 10 分>
14:00～ (60 分)	<p>④ 診療報酬改定 DX について (20 分) 厚生労働省保険局診療報酬改定 DX 推進室室長 島添悟亨</p> <p>⑤ 医療 DX に対する日本医師会の考えと取組み (40 分) 日本医師会常任理事 長島公之</p>
15:00～	<休憩 10 分>
15:10～ (60 分)	[パネルディスカッション] (60 分)
16:10～ (5 分)	<p>閉会挨拶</p> <p>日本医師会常任理事／日医協運営委員会委員長 長島公之</p>